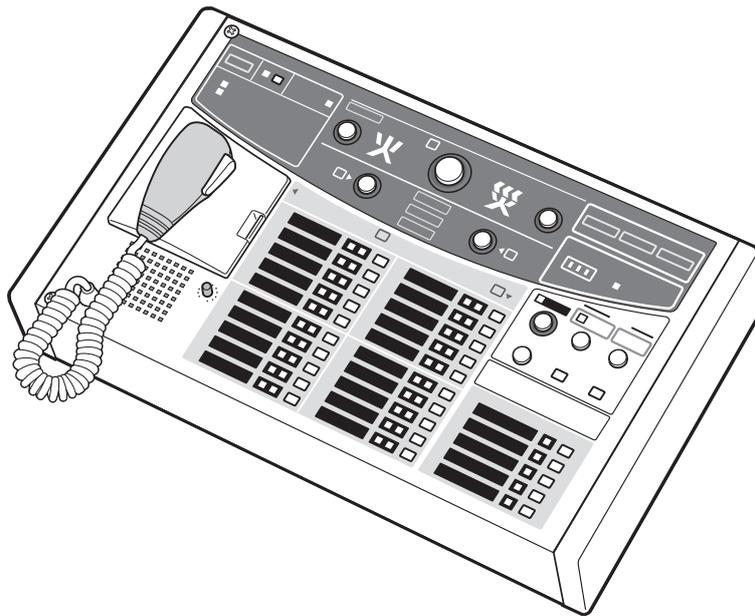


## 取扱説明書

工事説明付き

### 壁掛形非常リモコン

品番 WR-EC110A, WR-EC115A, WR-EC120A



イラストはWR-EC120Aです。

#### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

## 商品概要

本機は、業務用途を目的とする壁掛形非常用放送設備（以下、本体）WK-EK110A/WK-EK115A/WK-EK120A、WK-EK110/WK-EK115/WK-EK120用の壁掛形非常リモコン（以下、本機）です。非常放送以外に、緊急地震放送、緊急放送、業務放送が可能です。（WK-EK110/WK-EK115/WK-EK120に本機を接続した場合は、緊急地震放送の機能は動作しません）

### ●非常放送

- WK-EK110A/WK-EK115A/WK-EK120A と組み合わせて、音声警報による非常放送が行えます。
- WK-EK110A/WK-EK115A/WK-EK120A に最大 4 台までの接続が可能です。（マルチリモコンマイク WR-MC100A と合わせて総合計 8 台まで）
- 非常放送時には、音声により操作方法を指示する操作指示ガイダンスと、操作場所を表示灯で示す操作指示灯により、非常放送時の機器操作を支援します。

### ●緊急地震放送

- 緊急地震速報受信端末（別売り）に連動して、本機に内蔵された地震放送用メッセージを、非常放送よりも優先して放送します。\*
- ※本機には、緊急地震放送の受信機能はありません。緊急地震放送を行うには別途本体側に、緊急地震速報受信端末が必要です。

### ●緊急放送への対応

- WK-EK110A/WK-EK115A/WK-EK120A と組み合わせて、緊急放送が行えます。緊急起動スイッチにより、緊急事態発生時に、スイッチ操作 1 つで優先放送が可能な状態となります。
- WK-EK110A/WK-EK115A/WK-EK120A に組み込まれた内蔵メッセージを、機器前面のスイッチを使用して放送することができます。緊急放送用メッセージ（業務放送用メッセージも可能）として放送することもできます。
- サイレン音声を内蔵しています。避難訓練の際などに使用することができます。（サイレン音声は本体側に内蔵しています）

### ●業務放送

- 放送したい場所をあらかじめ設定し、スイッチ 1 つでまとめて放送できるブロック放送ができます。
- ライン入力端子を装備しており、BGM 機器等を接続することができます。（あらかじめ設置工事が必要です）

### ●本体に内蔵のメッセージ音声の放送

- 本体には、10 種類のメッセージ音声を内蔵しています。機器前面のメッセージスイッチまたはブロック選択スイッチで放送することができます。
- 内蔵のメッセージ音声をオリジナルのメッセージ音声に入れ替えることができます。

### ●自己診断機能

- 蓄電池電圧点検、非常リモコン通信点検、スピーカー回線短絡点検、非常／業務放送兼用マイク点検、電力増幅ユニット点検、コンピューター異常の自己診断機能付です。
- 点検結果を機器前面の LED（一部マイクドア内）に表示します。

## 付属品をご確認ください

取扱説明書（工事説明付）本書 ..... 1 冊      保証書 ..... 1 式  
 「非常放送のしかた」手順書 ..... 1 枚

以下の付属品は、設置工事で使用します。

型紙 ..... 1 枚      グロメット ..... 1 個  
 ゴム足 ..... 4 個      マイクロホン ..... 1 個  
 束線バンド ..... 1 本      目隠しラベル ..... 1 枚

## 免責について

この商品は、感知器などからの信号を受信した場合に非常放送を放送する設備であり、この商品単独で避難誘導するものではありません。

弊社はいかなる場合も以下に関して、一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による傷害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、拡声できないことなどで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 本商品の点検が適切に行われていない結果、発生した損害・被害

## 著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

## 記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



**重要** : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



: 使用上のヒントが書かれています。

# もくじ

ご使用前に

## ご使用前に

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	3
著作権について	3
記号について	3
もくじ	4
安全上のご注意	6
使用上のお願い	7
各部のなまえと働き	8

操作

## 操作

非常放送のしくみ	14
概要	14
用語の説明	17
非常放送のしかた (1) 感知器起動	18
非常放送のしかた (2) 感知器起動	20
非常放送のしかた (3) 発信機・非常電話起動 (発報)	22
非常放送のしかた (4) 発信機・非常電話起動 (火災)	24
非常放送のしかた (5) 手動起動 (発報)	26
非常放送のしかた (6) 手動起動 (火災)	28
緊急地震放送について	30
緊急地震放送とは	30
緊急地震放送の動作	30
緊急地震放送を行っているときの非常放送について	31
緊急放送のしかた	32
業務放送のしかた	34
相互通話のしかた	36
日常点検	37
電源の点検	37
異常時の表示について	37
故障かな!?	38

設置・工事

必要なとき

## 設置・ 工事

<b>工事説明</b> .....	<b>39</b>
付属品をご確認ください .....	39
設置上のご注意 .....	39
<b>設置のしかた</b> .....	<b>42</b>
壁面に取り付ける場合 .....	42
マイクロホンの接続 .....	44
卓上に置く場合 .....	44
<b>接続のしかた</b> .....	<b>45</b>
配線と結線 .....	45
ライン入力の接続 .....	48
<b>設置時の点検</b> .....	<b>49</b>
機器内部の設定・調整 .....	49
動作点検（非常放送） .....	52
動作点検（緊急放送） .....	56
動作点検（業務放送） .....	57
<b>保守点検のしかた</b> .....	<b>58</b>
自動点検について .....	58
電源の点検 .....	59
異常時の表示について .....	59

## 必要な とき

<b>仕様</b> .....	<b>60</b>
<b>保証とアフターサービス</b> .....	<b>63</b>

# 安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



**警告**

## 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

## 定期的に点検をする



非常時に適切な避難誘導が行えない原因となります。

- 点検は、販売店や保守契約店に依頼してください。

## 分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

**分解禁止**

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

## 異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

**禁止**

- 直ちに販売店にご連絡ください。

## 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- 直ちに販売店にご連絡ください。

## 周囲に物を置かない



非常時の操作を妨げる原因となります。

**禁止**

- 指定範囲は常に整理、整頓してください。

### 質量に耐える 取り付けをする



取付の場所や方法が不適切な場合、落下（や転倒）などでけがの原因となります。

- 販売店に依頼してください。

### 不安定な場所に 置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

### 機器の上に水などの 入った容器を置かない



水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 直ちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

### 電源は非常用放送設備 に接続する



指定外の接続をした場合、非常時に適切な避難誘導が行えない原因となります。

### 決められたヒューズを 使う



規定以外のヒューズを使うと、火災の原因となります。

### 雷のときは工事、配線 をしない



火災や感電の原因となります。

## ●使用上のお願い

#### ●日常点検をしてください。

万一の際（非常時）、機器が正常動作するように日常点検を行ってください。

#### ●日常点検時に異常を発見した場合は、直ちに販売店または保守契約店にご連絡ください。

#### ●取り付け高さは変えないでください。

非常用放送設備の取り付け高さは、操作面が床から 0.8 m ~ 1.5 m の範囲内と決まっています。特に卓上形として使用する場合、ご注意ください。

#### ●「非常放送のしかた」手順書は本機の近くに置いてください。

設定された起動方式を確認し、非常時に確実に操作できるように、「非常放送のしかた」手順書は本機の近くに置いてください。設定起動は、表題の下に記載しています。

#### ●使用温度範囲は、0℃～+50℃です。

この温度範囲以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与え、故障または誤動作の原因となります。

#### ●お手入れについて

ケースが汚れたときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。

ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

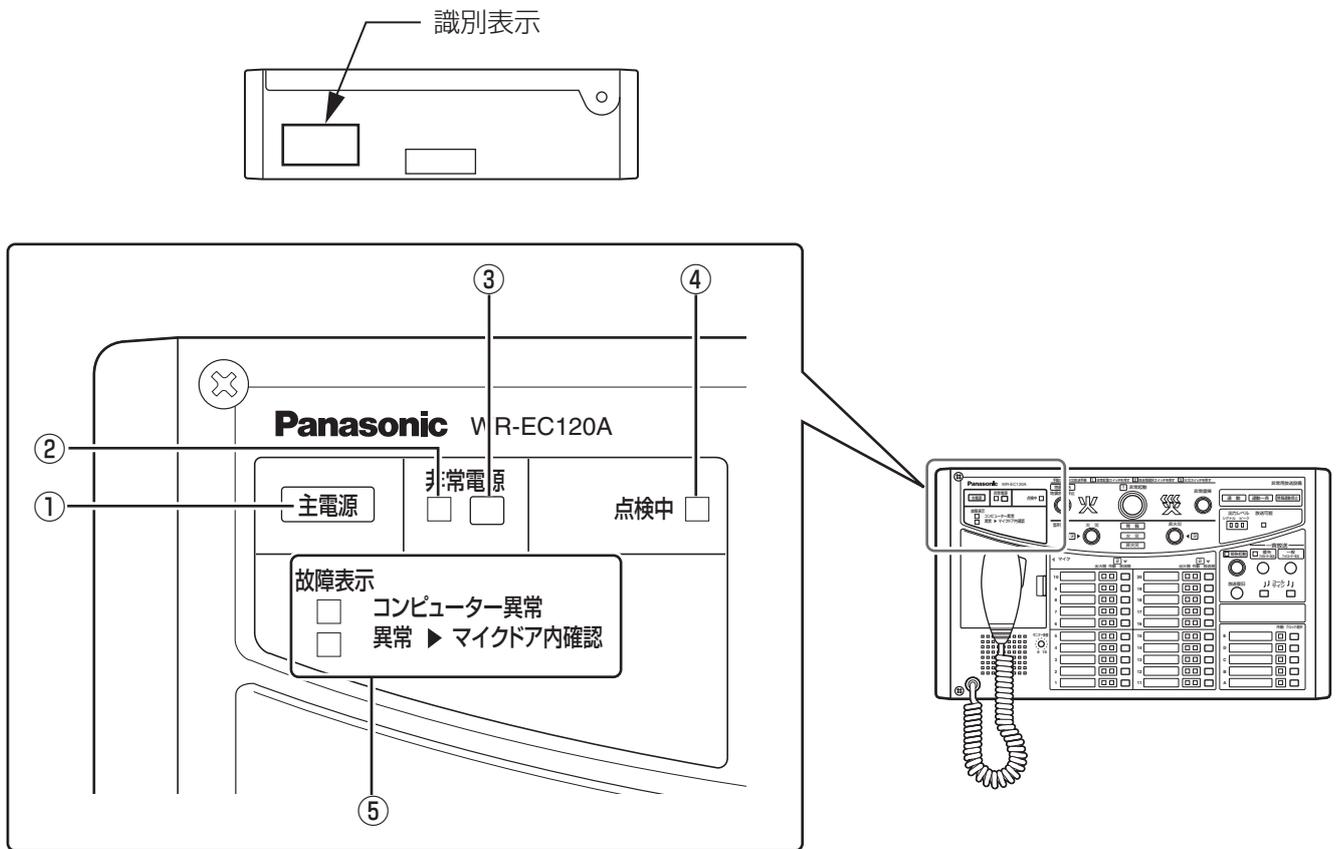
**重要** ● 操作部に触れますと、非常放送などが放送される場合があります。お手入れをする場合は操作部に触れないようにするか、適切な状況のもとでのみお願い致します。

● 内部の清掃や点検は、販売店にご相談ください。

# 各部のなまえと働き

※本機の識別および電源その他の表示は、機器下面（壁取り付け時）をご参照ください。

ご使用前に



## ① 主電源表示灯 [主電源] (緑色)

- 本機に電源 (DC24 V) が供給されているとき、緑色に点灯します。
- 停電時は消灯します。

## ② 非常電源表示灯 [非常電源] (緑色)

通常は消灯しています。非常電源電圧点検スイッチを押すと非常電源電圧の状態を表示します。

点灯 (緑色) : 正常

消灯 : 異常 (保守契約店または販売店にご連絡ください)

## ③ 非常電源電圧点検スイッチ

非常電源電圧を点検するときに押します。

## ④ 点検中表示灯 [点検中] (緑色)

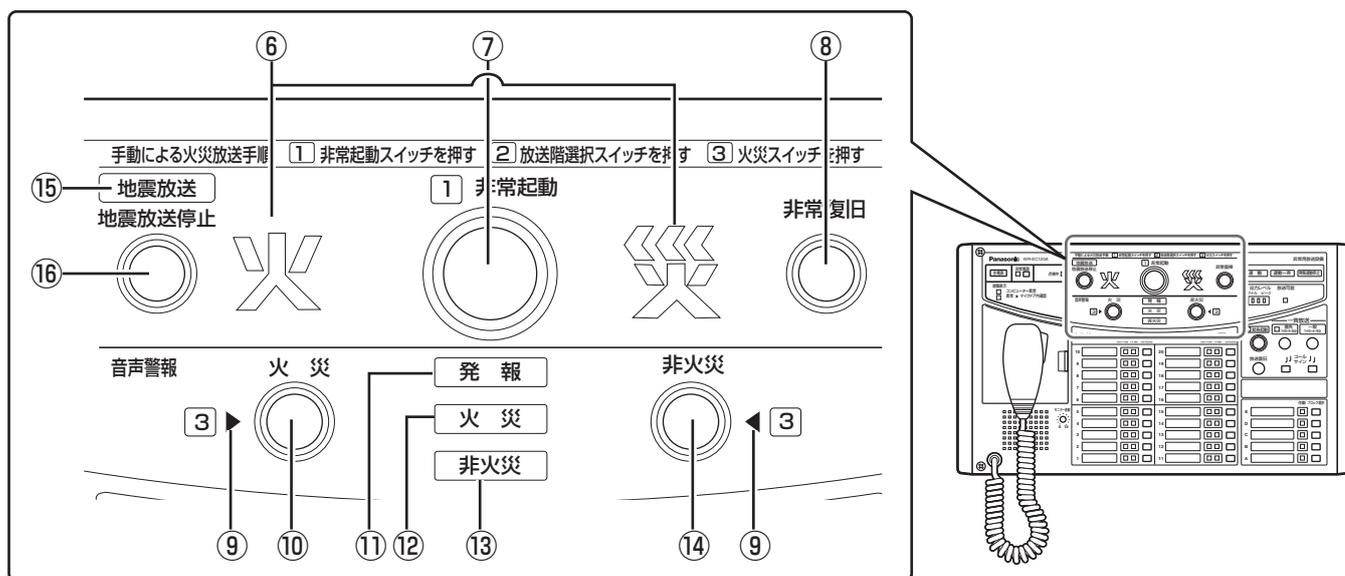
通常は消灯しています。非常用放送設備本体側で、点検を行っているときに点滅します。点検のしかたによってはスピーカー回線が遮断されることがありますので、表示灯が消灯していることを確認して放送を行ってください。

## ⑤ 故障表示灯 [故障表示] (赤色)

異常が発生したときに点灯します。

コンピューター異常表示灯：コンピューターが異常のときに点灯します。

異常表示灯：「コンピューター異常」以外の異常が発生したときに点灯します。異常内容は、マイクドア内の症状別異常表示灯の点灯を確認してください。



## ⑥ 火災灯（赤色）

非常起動すると点滅または点灯します。

点滅の場合：階別信号による非常起動、または第1タイマー（火災放送移行タイマー）作動中など

点灯の場合：「階別信号+火災確認信号」による非常起動など

## ⑦ 非常起動スイッチ【非常起動】

- 手で「非常放送」を放送するときに押します。
- 発報放送時または火災音信号鳴動時に、このスイッチを押して「火災放送」を放送することができます。

## ⑧ 非常復旧スイッチ【非常復旧】

非常放送を復旧するときに押します。ただし、感知器が動作している間、非常放送状態は復旧しません。

## ⑨ 音声警報選択指示灯（橙色）

- 発報放送中は、火災放送スイッチおよび非火災放送スイッチの指示灯が点滅します。
- 火災放送中は、火災放送スイッチの指示灯が点灯し、非火災放送スイッチの指示灯は点滅します。
- 非火災放送中は、非火災放送スイッチの指示灯が点灯し、火災放送スイッチの指示灯は点滅します。
- 状況を確認して、放送内容に誤りがあれば選択し直して正しい放送を行ってください。

## ⑩ 火災放送スイッチ【火災】

火災を確認したときに押します。「火災放送」が放送されます。

## ⑪ 発報放送表示灯【発報】（橙色）

- 発報放送されているときは点灯します。
- 設定された回数の「発報放送」を放送したあとは、状態表示のため次の段階に移行するまで点滅します。

## ⑫ 火災放送表示灯【火災】（赤色）

- 火災放送スイッチを押すと点灯します。
- 「火災放送」を放送したあとは、状態表示のため次の段階に移行するまで点滅します。

## ⑬ 非火災放送表示灯【非火災】（緑色）

- 非火災放送スイッチを押すと点灯します。
- 「非火災放送」を放送したあとは、状態表示のため次の段階に移行するまで点滅します。

## ⑭ 非火災放送スイッチ【非火災】

火災でないことを確認したときに押すと、「非火災放送」が放送されます。

## ⑮ 緊急地震放送表示灯【地震放送】（橙色）

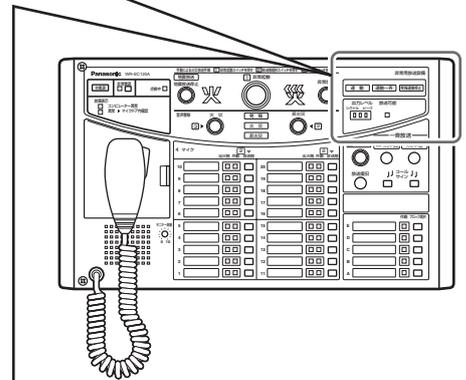
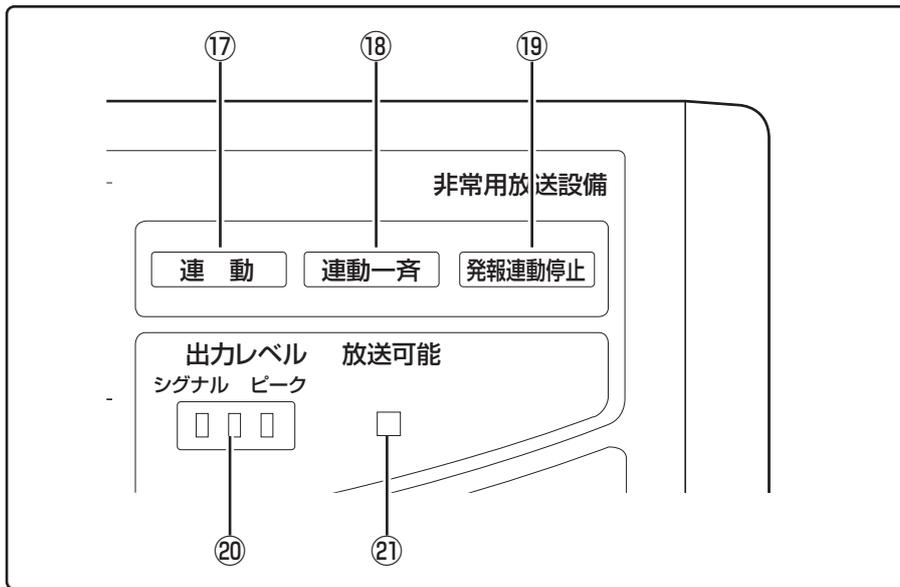
緊急地震放送中に点滅します。

## ⑯ 緊急地震放送停止スイッチ【地震放送停止】

緊急地震放送を手動で停止させたいときに押します。

# 各部のなまえと働き

ご使用前に



## ①⑦ 連動表示灯 [連動] (赤色)

点灯しているときに感知器や発信機などからの階別信号を受信すると、出火階と連動階に「非常放送」が放送されます。設定は本体側の書き込みで行います。

## ①⑧ 連動一斉表示灯 [連動一斉] (赤色)

点灯しているときに感知器や発信機などからの階別信号を受信すると、全館一斉に「非常放送」が放送されます。設定は本体側の書き込みで行います。

## ①⑨ 発報連動停止表示灯 [発報連動停止] (赤色)

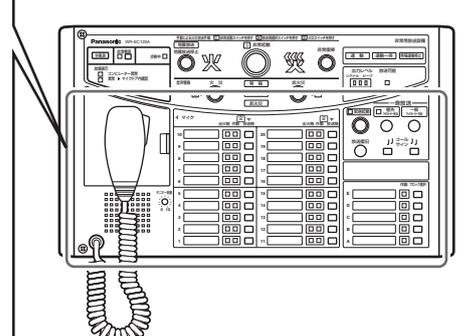
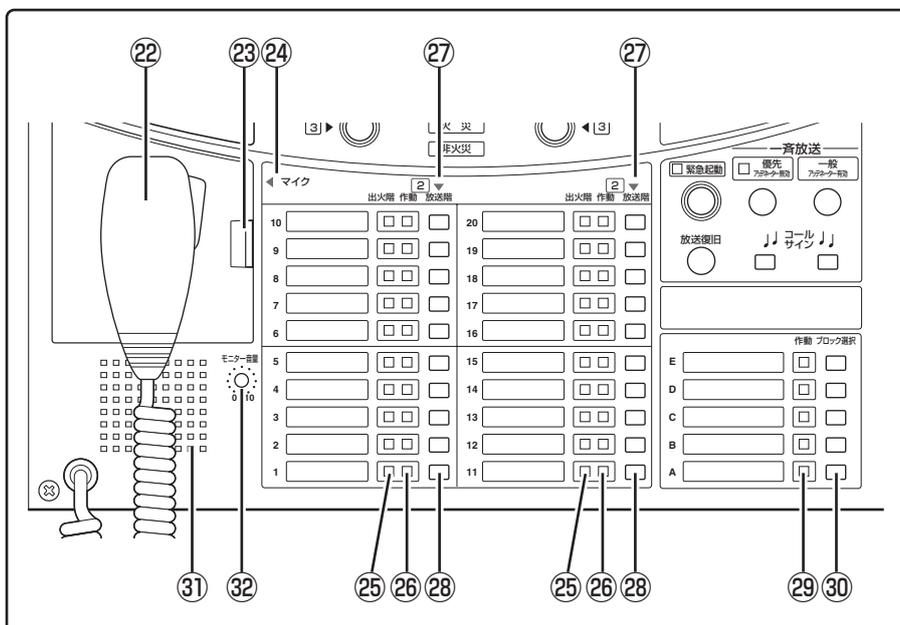
点灯しているときに感知器や発信機などからの階別信号を受信しても発報放送を行わず、火災音信号が本機のモニタースピーカーから鳴ります。設定は本体側の書き込みで行います。

## ②① 出力レベルメーター [出力レベル]

- 非常用放送設備本体に組み込んだ電力増幅ユニットの出力レベルを表示します。
- 赤色の表示灯 (ピークレベル) が連続点灯しないように、接続された機器の音量を調節してください。

## ②② 放送可能表示灯 [放送可能] (緑色)

- 一斉放送スイッチ、ブロック選択スイッチまたは放送階選択スイッチを押すと点灯し、放送可能となります。
- スイッチを押しても消灯しているときは、優先順位の高い機器から放送されています。



②② **非常、業務放送兼用マイクロホン（以下、本体マイク）**

- マイクを取り、スイッチを押しながら放送します。
- 業務放送中に火災感知器、発信機または非常電話からの起動で非常放送が入った場合、マイクでの放送は遮断され、非常放送（音声警報）が優先されます。避難誘導などを放送するときはスイッチを一度離し、再度スイッチを押してください。
- 非常放送時、マイク放送は音声警報より優先されます。適切な避難誘導を行ってください。

②③ **マイクドア**

異常表示の詳細確認、コンピューター制御の入／切およびメッセージ放送を行うときに開きます。

②④ **マイク指示灯 [マイク]（橙色）**

- 非常放送時、点滅します。
- マイク放送している間は点灯します。

②⑤ **出火階表示灯 [出火階]（赤色）**

非常放送動作時、点灯で出火階を表示します。（階別信号により起動を受けた階の表示灯が点灯します）

②⑥ **階別作動表示灯 [作動]（緑色）**

- 放送階選択スイッチ、一斉放送スイッチ、ブロック選択スイッチを押すと点灯します。
- 階別信号などの外部起動で非常動作になったとき、出火階と連動階が点灯します。
- 表示灯が点滅したときは、点滅した階のスピーカー回線が短絡しています。このとき、故障表示の異常表示灯と、マイクドア内の回線短絡表示灯が点灯します。販売店または保守契約店にご連絡ください。

②⑦ **放送階選択指示灯（橙色）**

- 非常時（階別信号など外部起動で非常動作になった場合）点灯します。
- 手動非常放送動作時（非常起動スイッチを押す）に点滅します。階別信号入力または手動入力（放送階選択スイッチを押す）で点灯します。

②⑧ **放送階選択スイッチ [放送階]**

放送したい階を選択するときを押します。（階別作動表示灯が点灯します）再度押すと、選択を解除します。（階別作動表示灯が消灯します）

②⑨ **ブロック作動表示灯 [作動]（緑色）**

ブロック選択スイッチを押すと点灯します。

③⑩ **ブロック選択スイッチ [ブロック選択]**

- ブロック指定した場所に放送するときを押します。（選択したブロックのブロック作動表示灯が点灯します）再度押すか放送復旧スイッチを押すと、選択が解除されます。（ブロック作動表示灯が消灯します）
- あらかじめ設定された内蔵メッセージの放送や、外部機器の制御ができます。

③⑪ **モニタースピーカー**

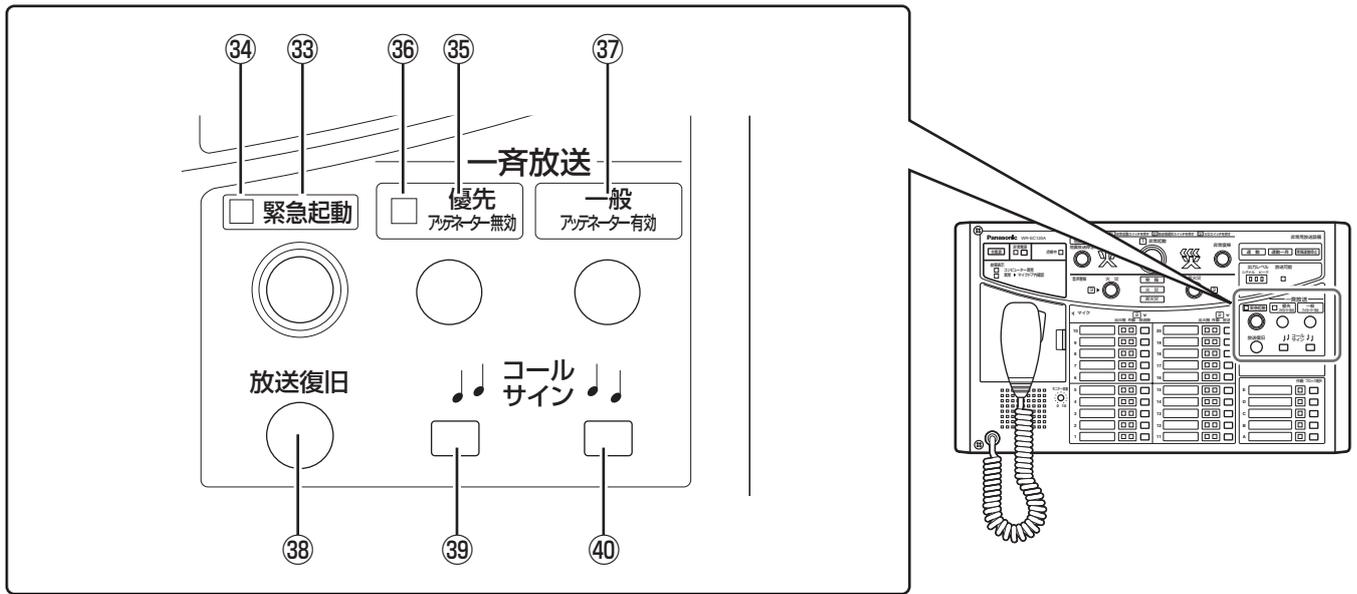
放送状態を確認できます。ハウリング防止のため、マイクスイッチを押すとモニタースピーカーからの音は「切」になります。

③⑫ **モニター音量つまみ**

- モニタースピーカーの音量を調節します。
- 非常放送時、緊急放送時は最大音量となります。

# 各部のなまえと働き

ご使用前に



## ③③ 緊急起動スイッチ【緊急起動】

火災発生以外の災害、事故などの緊急事態が発生し、放送中の業務放送を止めて最優先で放送を行うときに押します。押すと緊急放送状態になります。

放送する階の選択スイッチまたは一斉放送スイッチを押して、本体マイクなどで放送してください。

## ③④ 緊急起動表示灯（赤色）

緊急起動スイッチを押すと点灯します。本体側で緊急起動をかけると点灯します。

## ③⑤ 優先一斉放送スイッチ【優先、アッテネーター無効】

- 全館に一斉放送するときに押します。優先放送表示灯とすべての放送階の階別作動表示灯が点灯します。
- アッテネーター（音量調整器）の調整音量に関係なく最大音量で放送されます。「OFF」のときでも放送できます。（ただし、3線式配線の場合にかぎりません）

## ③⑥ 優先一斉放送表示灯（緑色）

優先一斉放送スイッチを押すと点灯します。本体側で優先一斉放送を行うと点灯します。

## ③⑦ 一般一斉放送スイッチ【一般、アッテネーター有効】

- 全館に一斉放送するときに押します。すべての放送階の階別作動表示灯が点灯します。
- アッテネーター（音量調整器）の調整音量で放送されます。「OFF」のときは放送されません。
- 非常放送時および緊急放送時は、アッテネーター（音量調整器）の調整音量に関係なく最大音量で放送されます。「OFF」のときでも放送できます。（ただし、3線式配線の場合にかぎりません）

## ③⑧ 放送復旧スイッチ【放送復旧】

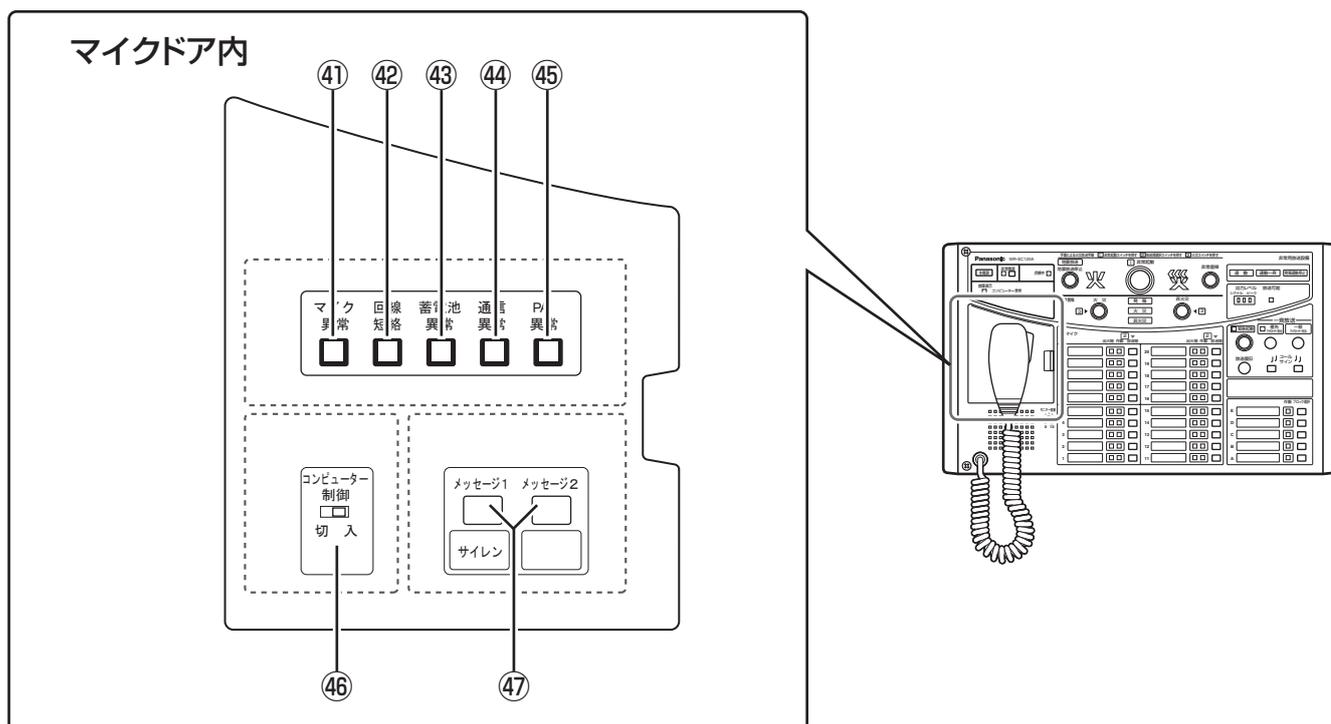
放送終了後に押します。放送階選択スイッチ、ブロック選択スイッチで選択した放送階がすべて解除されます。

## ③⑨ コールサイン上りスイッチ【♪♪】

放送可能表示灯が点灯しているときに押すと、上り4音のコールサインが放送されます。コールサインは業務放送時に使用できます。非常放送、緊急放送時は放送されません。

## ④① コールサイン下りスイッチ【♪♪】

放送可能表示灯が点灯しているときに押すと、下り4音のコールサインが放送されます。コールサインは業務放送時に使用できます。非常放送、緊急放送時は放送されません。



④1 **マイク異常表示灯【マイク異常】（赤色）**

本機の本体マイクがなんらかの原因で断線状態になると点灯します。

④2 **回線短絡表示灯【回線短絡】（赤色）**

スピーカー回線が短絡したときに点灯します。また、短絡した階の階別作動表示灯が点滅します。

④3 **蓄電池異常表示灯【蓄電池異常】（赤色）**

非常用放送設備で蓄電池点検時、蓄電池の容量が動作電圧以下になっていると点灯します。蓄電池の交換をしてください。

④4 **通信異常表示灯【通信異常】（赤色）**

非常用放送設備と非常リモコン間の通信に異常があると点灯します。

④5 **PA異常表示灯【PA異常】（赤色）**

非常用放送設備に組み込んだ電力増幅ユニットに異常があると点灯します。

④6 **コンピューター制御スイッチ【コンピューター制御】**

- 通常は、必ず「入」にしてください。
- 異常が発見され修理したあと、このスイッチを「切」にしてから「入」にすると、正常に戻ります。
- コンピューター制御スイッチを「切」にすると、コンピューター異常表示灯とすべての階別作動表示灯が点灯します。
- コンピューター異常時に放送するときは、「切」にすると本体マイクおよびライン入力で一斉放送ができます。

④7 **メッセージ1、2放送スイッチ【メッセージ1】、【メッセージ2】**

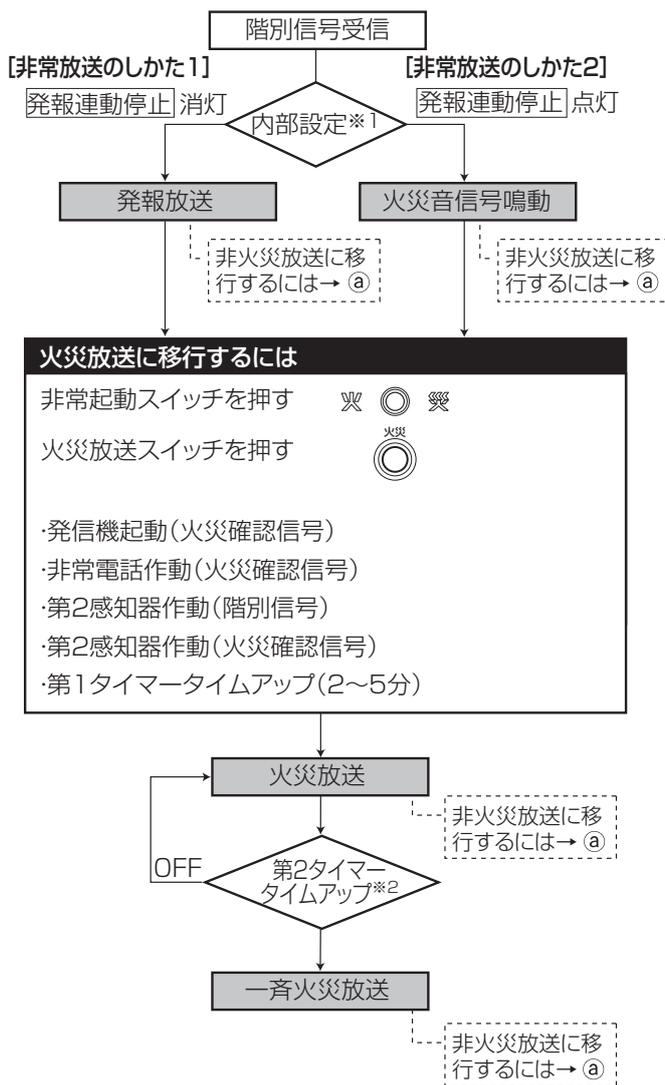
- あらかじめ本体のコンピューターに書き込まれた音声を業務放送および緊急放送時に放送させるときに押します。放送するときは、放送階を選択してから押してください。
- 出荷時、メッセージ1スイッチには「サイレン音」、メッセージ2スイッチには「地震訓練放送 NHK」のメッセージ音声（内蔵メッセージの1番目）が設定されていますが、設定変更可能です。

# 非常放送のしくみ

## 概要

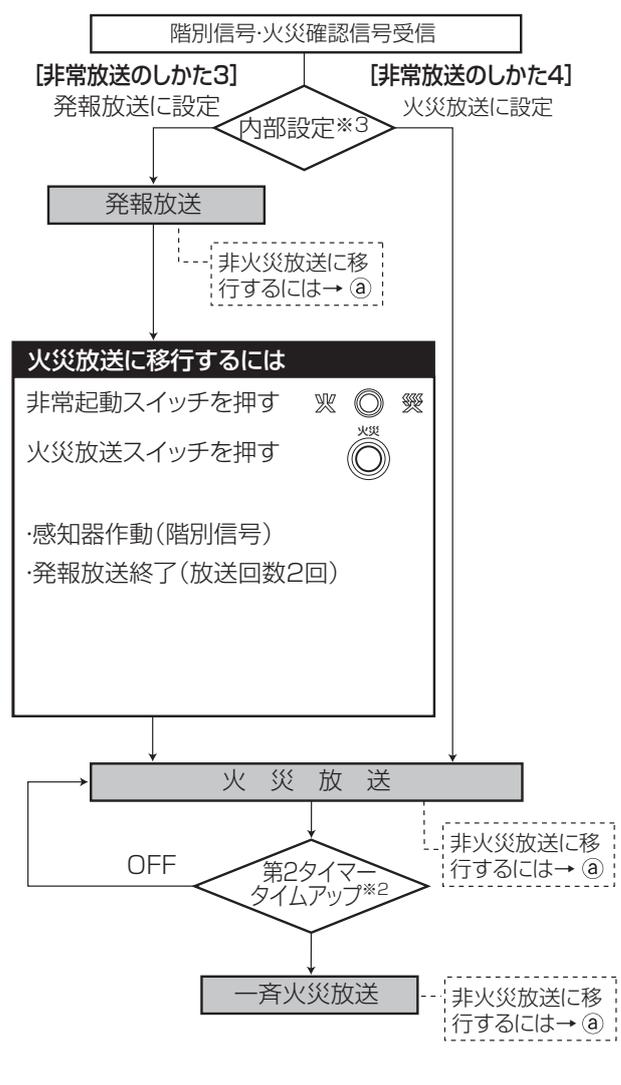
- 非常放送設備は、感知器と連動して自動的に非常放送（発報放送、火災放送）を行います。
- 内部の設定により火災発生時の非常放送手順が異なります。あらかじめ販売店（工事店）から起動方式を確認しておいてください。

### ●感知器起動



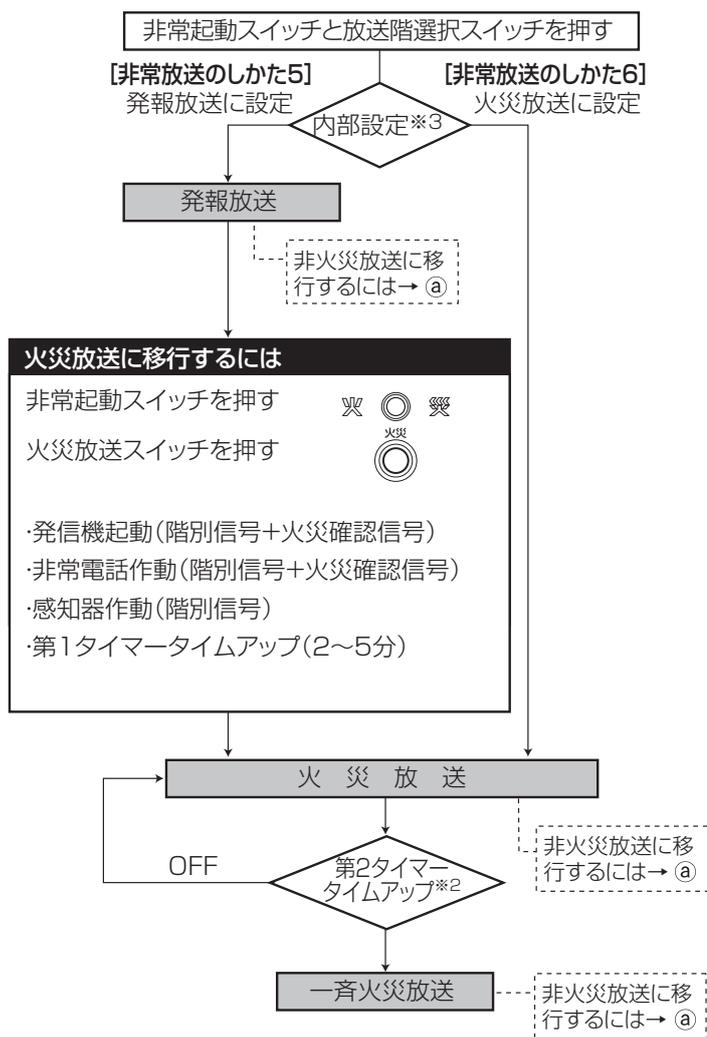
※1 発報連動停止の有無の設定  
 ※2 一斉火災放送移行の設定 (OFF、0分、2~5分)

### ●発信機・非常電話起動



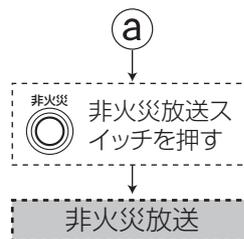
※3 発報放送／火災放送切替の設定

## ●手動起動



※3 発報放送／火災放送切替の設定

●非火災放送に移行するには  
非火災放送スイッチを押すことにより  
非火災放送に移行できます。



●階別信号に確認信号がない場合は、感知器起動動作になります。

# 非常放送のしくみ

## ●マイク放送について

- ・マイク放送は、音声警報より優先して放送されます。状況を把握し、マイクで放送してください。
- ・マイクで業務放送中に火災感知器、発信機または非常電話からの起動で非常放送が入った場合は、マイクでの放送が遮断され非常放送（音声警報）が優先されます。避難誘導などを放送するときは、マイクのスイッチを一度離し、再度スイッチを押してください。
- ・マイク放送後は、下記の状態になります。  
 「発報放送」中のマイク放送後 : 無音、第1タイマー継続  
 「非火災放送」中のマイク放送後 : 無音  
 「火災放送」中のマイク放送後 : 第2シグナル音が鳴ります

## ●放送復旧スイッチを押したあとの動作について

- 「発報放送」中の放送復旧後 : 無選択、無音、第1タイマー継続
  - 「非火災放送」中の放送復旧後 : 無選択、無音
  - 「火災放送」中の放送復旧後 : 無選択、無音、第2タイマー継続
- 注) 第2タイマータイムアップによる「一斉火災放送」中は、放送復旧スイッチを押しても復旧しません。  
 無選択とは、放送階選択スイッチが解除され、階別作動表示灯がすべて消灯している状態をいいます。

## ●連動表示が点灯している場合

火災感知器、発信機または非常電話からの起動による非常放送は、出火階と連動階に放送されます。

## ●連動一斉表示が点灯している場合

火災感知器、発信機または非常電話からの起動による非常放送は、全館一斉に放送されます。

## ●第1タイマー設定について

第1タイマー（火災放送移行タイマー）は、2～5分（最大10分）に設定できます。（出荷時は5分に設定）

## ●第2タイマー設定について

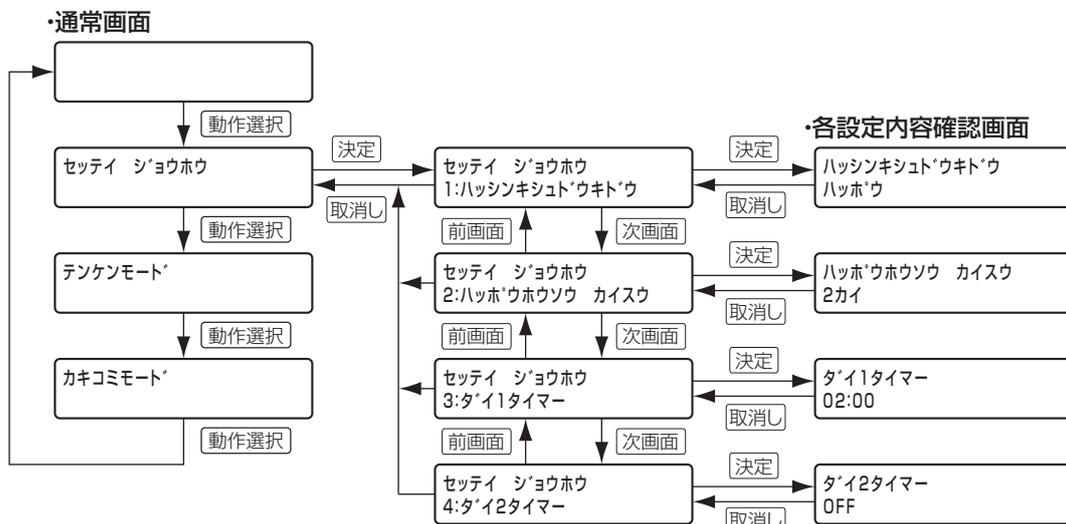
第2タイマー（一斉火災放送移行タイマー）は、OFF、0分、2～5分（最大10分）に設定できます。（出荷時は5分に設定）

- OFF : 一斉火災放送に移行しません。
- 0分 : すぐに一斉火災放送に移行します。
- 2～5分 : 設定した時間で一斉火災放送に移行します。

## ●設定内容の確認について

非常用放送設備本体の液晶画面で設定内容を確認できます。

- ・非常放送の発信機手動起動設定、発報放送回数、第1タイマー、第2タイマーの設定内容の確認ができます。
- ・**動作選択** スwitchを押して「セッテイ ジョウホウ」画面を選択し、**前画面**、**次画面**、**決定**、**取消し** の各switchを押して各設定内容を確認します。



# 用語の説明

連動一斉 .....	火災感知器と連動し、火災感知器動作時に自動的に全館一斉非常放送できる状態をいいます。
連動 .....	火災感知器と連動し、火災感知器動作時に自動的に出火階と連動階に非常放送できる状態をいいます。
発報連動停止 .....	火災感知器動作時に発報放送をせず、本機のモニタースピーカーから火災音信号が鳴る状態をいいます。
火災音信号 .....	発報連動停止時に、感知器起動で発報放送が放送されずモニタースピーカーから鳴るブザー音（ピーピーピー）のことをいいます。
第一報 .....	はじめに火災報知設備から出力された信号をいいます。その次の信号を第二報といえます。
階別信号 .....	火災感知器が火災を感知したことを知らせるために、火災報知設備より出力される信号をいいます。
火災確認信号 .....	火災が確認されたあとに、火災報知設備から出力される信号をいいます。
第1タイマータイムアップ (火災放送移行タイマー) .....	階別信号受信後、設定した時間（2～5分）が経過すると自動的に火災放送に移行することをいいます。事前に販売店（工事店）に設定時間をご確認ください。5分以上の時間設定をする場合は、管轄消防署の確認が必要です。
第2タイマータイムアップ (一斉火災放送移行タイマー) .....	火災放送が出火階、連動階に放送開始されたあと、設定した時間が経過すると自動的に全館への一斉火災放送に移行することをいいます。設定時間はおおむね数分（非常用放送設備の場合は2～5分）とし、最大10分以内と定められています。これ以外の時間設定をする場合は管轄消防署の確認が必要です。第2タイマーを0分に設定したときは、直ちに一斉火災放送に移行します。第2タイマーをOFFに設定したときは、一斉火災放送に移行しません。第2タイマータイムアップによる一斉火災放送中は、放送階の解除はできません。事前に販売店（工事店）に設定時間をご確認ください。
手動連動／個別手動 .....	手動非常起動から放送階選択スイッチを押したとき、手動連動の場合は、連動階も一緒に自動的に放送されます。個別手動の場合は、選択した放送階選択スイッチのところに放送され、連動階には放送されません。
アッテネーター有効／無効 .....	スピーカーの音量調整器（アッテネーター）の設定がアッテネーター有効の場合は、音量調整器の調整音量で放送されます。アッテネーター無効の場合は、音量調整器の調整音量に関係なく、最大音量で放送されます。スピーカーの音量調整器の当社名称は、スピーカー取り付けタイプがアッテネーター、壁埋め込み・ボックス取り付けタイプがボリュームコントローラーです。

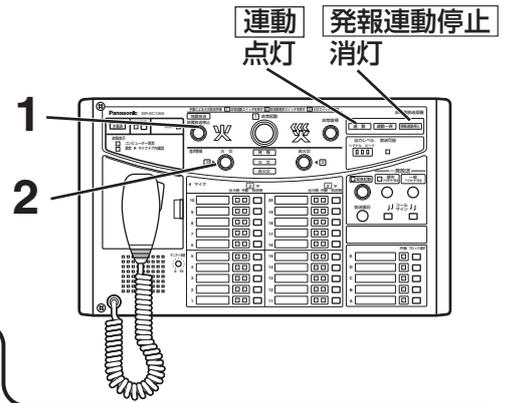
# 非常放送のしかた（1） 感知器起動

発報連動停止 表示 → 消灯（出荷時：消灯）

連動 表示 → 点灯



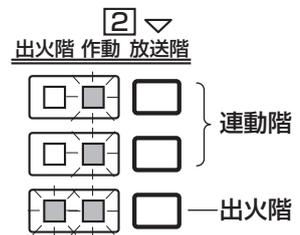
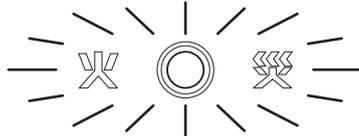
（階別信号入力）  
感知器から  
信号が入る。  
（第一報）



## 1 出火階、連動階に発報放送が放送される。

ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）  
「ただいま〇階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」

連動一斉 表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。  
発報放送終了後、モニタースピーカーから火災音信号（ピーピーピー）が放送されます。



操作

## 2 操作を選択する。

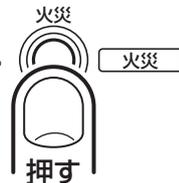
### ●火災を確認したとき

**火災放送スイッチまたは非常起動スイッチを押す。**

以下の場合には自動的に火災放送が放送されます。

- 発信機起動（火災確認信号）\*
- 非常電話作動（火災確認信号）\*
- 第2感知器作動（階別信号）\*
- 第2感知器作動（火災確認信号）\*
- 第1タイマータイムアップ（2～5分）

\*印のときは発報放送終了後、火災放送に移行します。



- 状況に応じてマイクで放送する → Aへ
- 火災でないことを確認したとき → Bへ

## 3 「火災放送」が放送される。

ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）  
「火事です！火事です！〇階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」ビュー ビュー ビュー（第2シグナル音）

- 状況に応じてマイクで放送する → Aへ
- 火災でないことを確認したとき → Bへ

## 第2タイマータイムアップ（設定時間 OFF、0分、2～5分、最大10分）

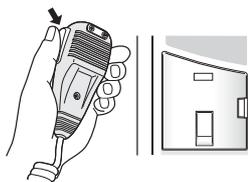
- 「OFF」のときは、一斉火災放送に移行しません。

## 4 全館に「火災放送」が放送される。（一斉火災放送）

- 状況に応じてマイクで放送する → Aへ
- 火災でないことを確認したとき → Bへ

## A 状況に応じてマイクで放送する（マイク放送優先）

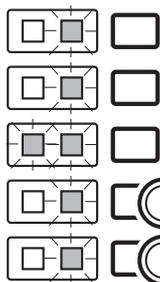
スイッチを押す



- 階別作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
- 連動一斉**表示灯点灯時は、マイクは全館一斉放送となります。
- 発報放送時にマイク放送したあとは無音となります。（第1タイマーは継続します）
- 火災放送時マイクで放送したあと、マイクスイッチを切ると第2シグナル音（ビュービュー）が鳴ります。
- 非火災放送時にマイク放送したあとは無音となります。

### ●放送階を増やすとき

必要な階のスイッチを押して選択し、再びマイクで放送する。



- 放送階を取り消すときは、取り消す階のスイッチを押します。（階別作動表示灯が消灯します）

出火階

押す

追加階

押す

### ●一斉放送するとき

一斉放送スイッチを押す。



- 一般一斉放送を押しても優先一斉放送（アッテネーター（音量調整器）無効）の動きになります。

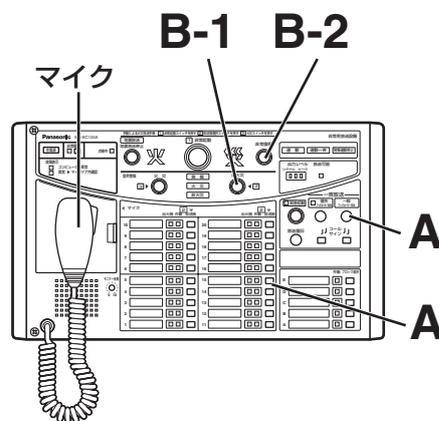
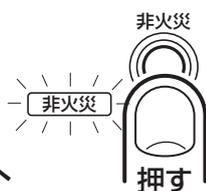
## B 火災でないことを確認したとき

### B-1 非火災放送スイッチを押す。

「非火災放送」が放送されます。

ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）  
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」

●状況に応じてマイクで放送する →Aへ



### B-2 非常復旧スイッチを押す。

非常復旧スイッチを押すと、非常状態から解除になります。ただし、感知器が動作している間は非常放送は復旧しません。

非常復旧



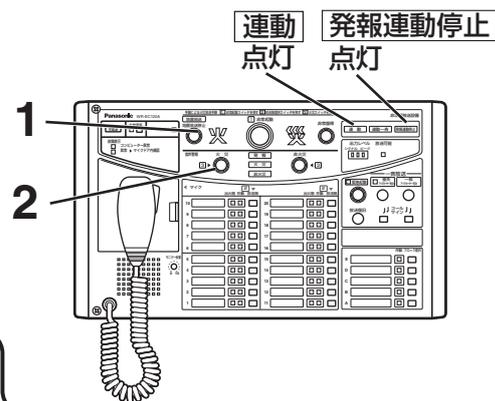
# 非常放送のしかた (2) 感知器起動

発報連動停止 表示 → 点灯 (出荷時：消灯)

連動 表示 → 点灯



(階別信号入力)  
感知器から  
信号が入る。  
(第一報)



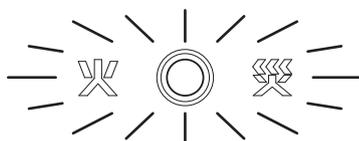
操作

## 1 モニタースピーカーから火災音信号が放送される。

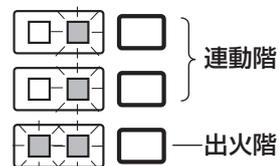
ピー、ピー、ピー、(火災音信号)

火災感知器が作動した。火災のときは火災放送スイッチを押せ。  
火災でないときは非火災放送スイッチを押せ。

- [連動一斉] 表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。



## 2 出火階 作動 放送階



## 2 操作を選択する。

- 火災を確認したとき

**火災放送スイッチまたは非常起動スイッチを押す。**

以下の場合には自動的に火災放送が放送されます。

- 発信機起動 (火災確認信号)
- 非常電話作動 (火災確認信号)
- 第2感知器作動 (階別信号)
- 第2感知器作動 (火災確認信号)
- 第1タイマータイムアップ (2~5分)



- 状況に応じてマイクで放送する → Aへ
- 火災でないことを確認したとき → Bへ

## 3 「火災放送」が放送される。

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)

「火事です！火事です！○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」ビュー ビュー ビュー (第2シグナル音)

- 状況に応じてマイクで放送する → Aへ
- 火災でないことを確認したとき → Bへ

## 第2タイマータイムアップ (設定時間 OFF、0分、2~5分、最大10分)

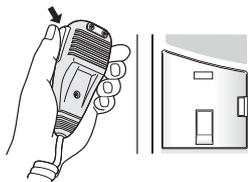
- 「OFF」 のときは、一斉火災放送に移行しません。

## 4 全館に「火災放送」が放送される。(一斉火災放送)

- 状況に応じてマイクで放送する → Aへ
- 火災でないことを確認したとき → Bへ

## A 状況に応じてマイクで放送する（マイク放送優先）

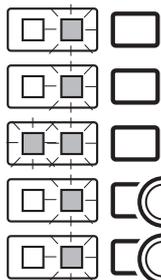
スイッチを押す



- 階別作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
- [連動一斉]表示灯点灯時は、マイクは全館一斉放送となります。
- 火災信号音（ピーピーピー）放送時にマイク放送したあとは無音となります。（第1タイマーは継続します）
- 火災放送時マイクで放送したあと、マイクスイッチを切ると第2シグナル音（ビュービュー）が鳴ります。
- 非火災放送時にマイク放送したあとは無音となります。

### ●放送階を増やすとき

必要な階のスイッチを押して選択し、再びマイクで放送する。



- 放送階を取り消すときは、取り消す階のスイッチを押します。（階別作動表示灯が消灯します）

出火階

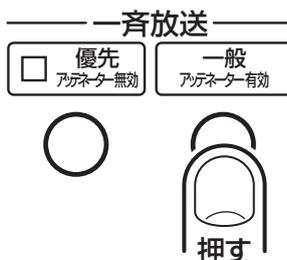
押す

追加階

押す

### ●一斉放送するとき

一斉放送スイッチを押す。



- 一般一斉放送を押しても優先一斉放送（アッテネーター（音量調整器）無効）の動きになります。

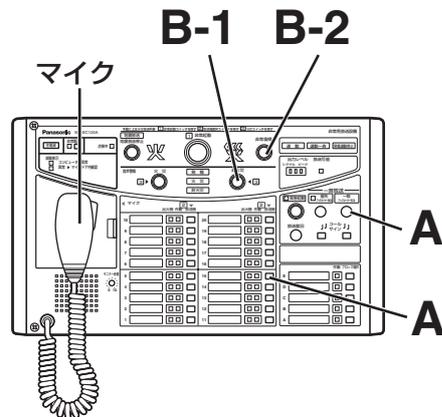
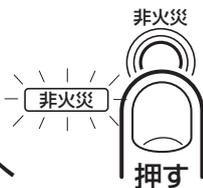
## B 火災でないことを確認したとき

### B-1 非火災放送スイッチを押す。

「非火災放送」が放送されます。

ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）  
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」

- 状況に応じてマイクで放送する →Aへ



### B-2 非常復旧スイッチを押す。

非常復旧スイッチを押すと、非常状態から解除になります。  
ただし、感知器が動作している間は非常放送は復旧しません。

非常復旧



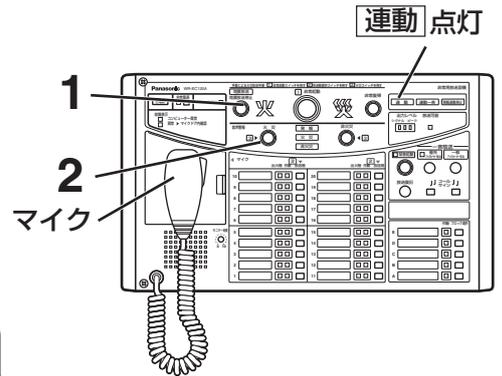
# 非常放送のしかた (3) 発信機・非常電話起動 (発報)

「発報放送」に設定の場合 (出荷時: 発報放送)

**連動** 表示 → 点灯



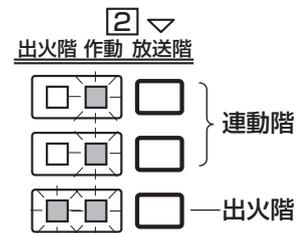
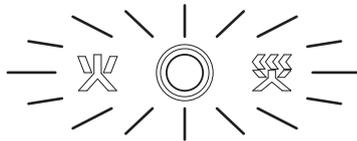
(階別信号+火災確認信号の同時入力)  
発信機・非常電話から信号が入る。  
(第一報)



## 1 出火階、連動階に発報放送が放送される。

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)  
「ただいま〇階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」

**連動一斉** 表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。



操作

## 2 操作を選択する。

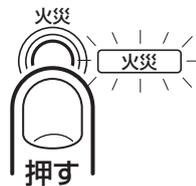
### ●火災を確認したとき

**火災放送スイッチまたは非常起動スイッチを押す。**

以下の場合には自動的に火災放送が放送されます。

- 感知器作動 (階別信号) \*
- 発報放送終了 (放送回数2回)

\*印のときは発報放送終了後、火災放送に移行します。



### ●状況に応じてマイクで放送する → Aへ

発報放送時にマイク放送したあと、マイクスイッチを切ると火災放送に移行します。

### ●火災でないことを確認したとき → Bへ

## 3 「火災放送」が放送される。

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)

「火事です! 火事です! 〇階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」ビュー ビュー ビュー (第2シグナル音)

- 状況に応じてマイクで放送する → Aへ
- 火災でないことを確認したとき → Bへ

## 第2タイマータイムアップ (設定時間 OFF、0分、2~5分、最大10分)

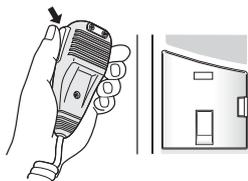
- 「OFF」のときは、一斉火災放送に移行しません。

## 4 全館に「火災放送」が放送される。(一斉火災放送)

- 状況に応じてマイクで放送する → Aへ
- 火災でないことを確認したとき → Bへ

## A 状況に応じてマイクで放送する（マイク放送優先）

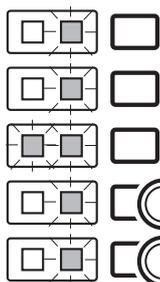
スイッチを押す



- 階別作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
- 連動一斉** 表示灯点灯時は、マイクは全館一斉放送となります。
- 火災放送時マイクで放送したあと、マイクスイッチを切ると第2シグナル音（ビュービュー）が鳴ります。
- 非火災放送時にマイク放送したあとは無音となります。

●放送階を増やすとき

必要な階のスイッチを押して選択し、再びマイクで放送する。



- 放送階を取り消すときは、取り消す階のスイッチを押します。（階別作動表示灯が消灯します）

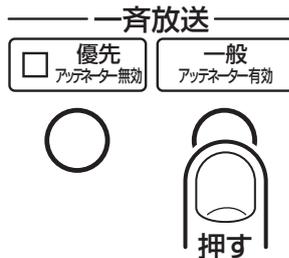
出火階

押す } 追加階

押す }

●一斉放送するとき

一斉放送スイッチを押す。



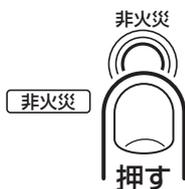
- 一般一斉放送を押しても優先一斉放送（アッテネーター（音量調整器）無効）の動きになります。

## B 火災でないことを確認したとき

### B-1 非火災放送スイッチを押す。

「非火災放送」が放送されます。

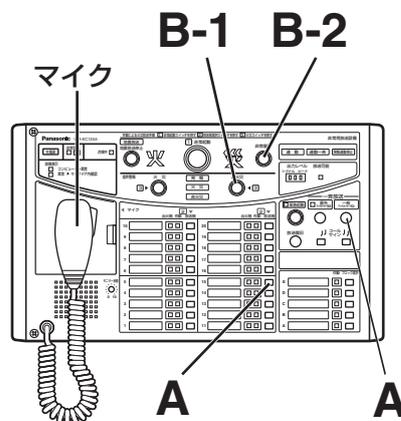
ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）  
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



●状況に応じてマイクで放送する →Aへ

### B-2 非常復旧スイッチを押す。

非常放送が終了します。  
非常復旧スイッチを押すと、非常状態から解除になります。  
ただし、感知器が動作している間は非常放送は復旧しません。



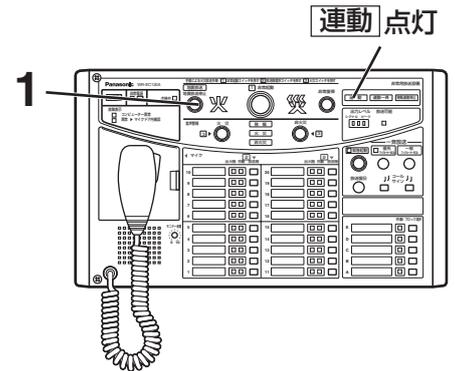
# 非常放送のしかた (4) 発信機・非常電話起動 (火災)

「火災放送」に設定の場合 (出荷時：発報放送)

**連動** 表示 → 点灯



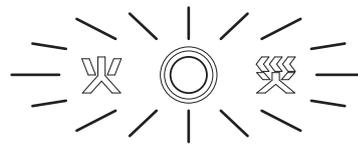
(階別信号+火災確認信号の同時入力)  
発信機・非常電話から信号が入る。  
(第一報)



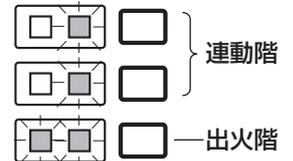
## 1 出火階、連動階に火災放送が放送される。

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)  
「火事です！火事です！○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」  
ビュー ビュー ビュー (第2シグナル音)

**連動一斉** 表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。



### 2 出火階 作動 放送階



- 状況に応じてマイクで放送する → Aへ
- 火災でないことを確認したとき → Bへ

操作

## 第2タイマータイムアップ (設定時間 OFF、0分、2~5分、最大10分)

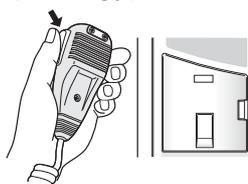
- 「OFF」のときは、一斉火災放送に移行しません。

## 2 全館に「火災放送」が放送される。(一斉火災放送)

- 状況に応じてマイクで放送する → Aへ
- 火災でないことを確認したとき → Bへ

## A 状況に応じてマイクで放送する（マイク放送優先）

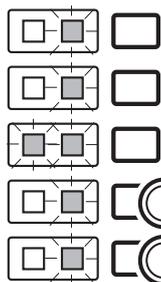
スイッチを押す



- 階別作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
- 連動一斉**表示灯点灯時は、マイクは全館一斉放送となります。
- 火災放送時マイクで放送したあと、マイクスイッチを切ると第2シグナル音（ビュービュー）が鳴ります。
- 非火災放送時にマイク放送したあとは無音となります。

### ●放送階を増やすとき

必要な階のスイッチを押して選択し、再びマイクで放送する。



- 放送階を取り消すときは、取り消す階のスイッチを押します。（階別作動表示灯が消灯します）

出火階

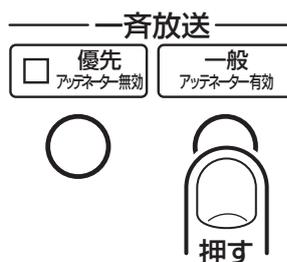
追加階

押す

押す

### ●一斉放送するとき

一斉放送スイッチを押す。



- 一般一斉放送を押しても優先一斉放送（アッテネーター無効）の動きになります。

## B 火災でないことを確認したとき

### B-1 非火災放送スイッチを押す。

「非火災放送」が放送されます。

ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）  
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」

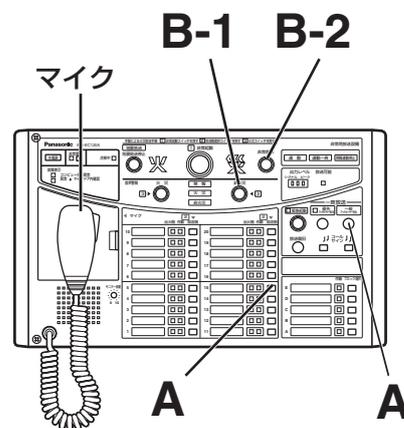


- 状況に応じてマイクで放送する →Aへ

### B-2 非常復旧スイッチを押す。

非常放送が終了します。  
非常復旧スイッチを押すと、非常状態から解除になります。  
ただし、感知器が動作している間は非常放送は復旧しません。

非常復旧

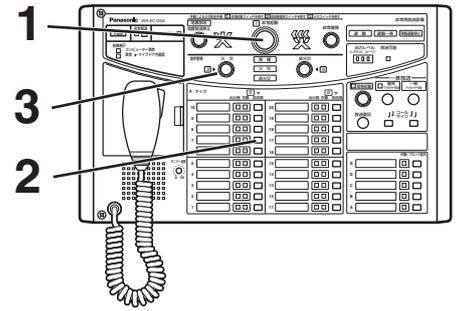


# 非常放送のしかた (5) 手動起動 (発報)

「発報放送」に設定の場合 (出荷時: 発報放送)



手動起動には、手動連動と個別手動の2種類があります。(出荷時は手動連動)  
詳しくは17ページをご覧ください。



操作

## 1 非常起動スイッチを押す。

●放送階選択指示灯が点滅します。

放送階選択スイッチを押せ (音声指示)

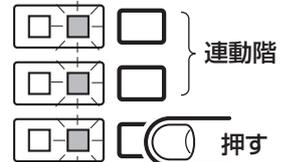


## 2 放送したい階の放送階選択スイッチを押す。

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)

「ただいま火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」

出火階 作動 放送階



- 放送階・連動階の階別作動表示灯が点灯。
- 放送階選択指示灯が点灯。

## 3 操作を選択する。

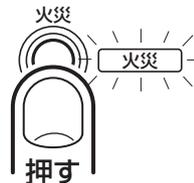
●火災を確認したとき

火災放送スイッチまたは非常起動スイッチを押す。

以下の場合には自動的に火災放送が放送されます。

- 発信機起動 (火災確認信号 + 階別信号) \*
- 非常電話作動 (火災確認信号 + 階別信号) \*
- 感知器作動 (階別信号) \*
- 第1タイマータイムアップ (2~5分)

\*印のときは発報放送終了後、火災放送に移行します。



●マイク放送 →Aへ

マイクを外し、マイクスイッチを押すとマイク放送が優先して流れます。

●火災でないことを確認したとき →Bへ

## 4 「火災放送」が放送される。

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)

「火事です! 火事です! (〇階で) \*火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」ビュー ビュー ビュー (第2シグナル音)

※階別信号を受信して火災放送に移行したとき、階情報 (〇階で) が自動的に文章に追加されます。

- 状況に応じてマイクで放送する →Aへ
- 火災でないことを確認したとき →Bへ

## 第2タイマータイムアップ (設定時間 OFF、0分、2~5分、最大10分)

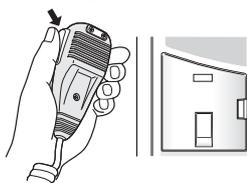
- 「OFF」のときは、一斉火災放送に移行しません。

## 5 全館に「火災放送」が放送される。(一斉火災放送)

- 状況に応じてマイクで放送する →Aへ
- 火災でないことを確認したとき →Bへ

## A 状況に応じてマイクで放送する（マイク放送優先）

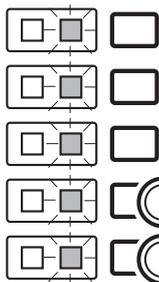
スイッチを押す



- 階別作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
- 火災放送時マイクで放送したあと、マイクスイッチを切ると第2シグナル音（ビュービュー）が鳴ります。
- 発報放送時と非火災放送時にマイク放送したあとは無音となります。

### ●放送階を増やすとき

必要な階のスイッチを押して選択し、再びマイクで放送する。

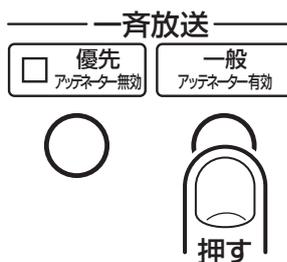


- 放送階を取り消すときは、取り消す階のスイッチを押します。（階別作動表示灯が消灯します）

追加階

### ●一斉放送するとき

一斉放送スイッチを押す。



- 一般一斉放送を押しても優先一斉放送（アッテネーター無効）の動きになります。

## B 火災でないことを確認したとき

### B-1 非火災放送スイッチを押す。

「非火災放送」が放送されます。

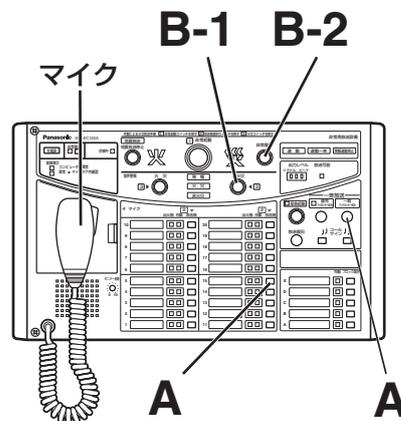
ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）  
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



●状況に応じてマイクで放送する →Aへ

### B-2 非常復旧スイッチを押す。

非常放送が終了します。  
非常復旧スイッチを押すと、非常状態から解除になります。  
ただし、感知器が動作している間は非常放送は復旧しません。

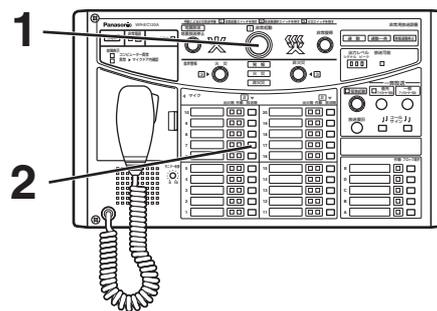


# 非常放送のしかた (6) 手動起動 (火災)

「火災放送」に設定の場合 (出荷時: 発報放送)



手動起動には、手動連動と個別手動の2種類があります。(出荷時は手動連動)  
詳しくは、17ページをご覧ください。



操作

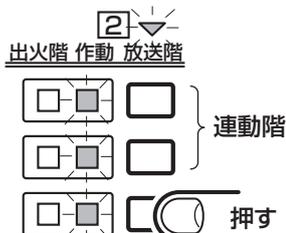
## 1 非常起動スイッチを押す。

●放送階選択指示灯が点滅します。

放送階選択スイッチを押せ (音声指示)



## 2 放送したい階の放送階選択スイッチを押す。



●放送階・連動階の階別作動表示灯が点灯。  
●放送階選択指示灯が点灯。

## 3 「火災放送」が放送される。

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)

「火事です! 火事です! 火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」ビュー ビュー ビュー (第2シグナル音)

- 状況に応じてマイクで放送する →Aへ
- 火災でないことを確認したとき →Bへ

## 第2タイマータイムアップ (設定時間 OFF、0分、2~5分、最大10分)

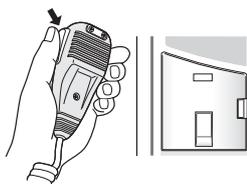
●「OFF」のときは、一斉火災放送に移行しません。

## 4 全館に「火災放送」が放送される。(一斉火災放送)

- 状況に応じてマイクで放送する →Aへ
- 火災でないことを確認したとき →Bへ

## A 状況に応じてマイクで放送する（マイク放送優先）

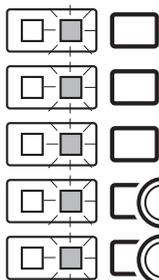
スイッチを押す



- 階別作動表示灯が点灯している階にマイク放送が流れます。
- 火災放送時マイクで放送したあと、マイクスイッチを切ると第2シグナル音（ビュービュー）が鳴ります。
- 非火災放送時にマイク放送したあとは無音となります。

### ●放送階を増やすとき

必要な階のスイッチを押して選択し、再びマイクで放送する。

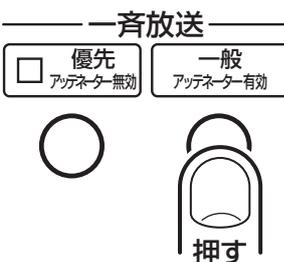


- 放送階を取り消すときは、取り消す階のスイッチを押します。（階別作動表示灯が消灯します）

押す } 追加階  
押す }

### ●一斉放送するとき

一斉放送スイッチを押す。



- 一般一斉放送を押しても優先一斉放送（アッテネーター無効）の動きになります。

## B 火災でないことを確認したとき

### B-1 非火災放送スイッチを押す。

「非火災放送」が放送されます。

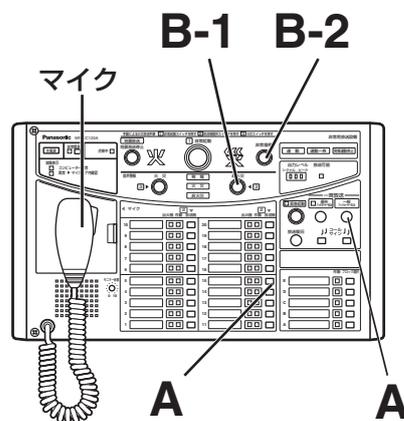
ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）  
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



- 状況に応じてマイクで放送する →Aへ

### B-2 非常復旧スイッチを押す。

非常放送が終了します。  
非常復旧スイッチを押すと、非常状態から解除になります。  
ただし、感知器が動作している間は非常放送は復旧しません。



# 緊急地震放送について

## ■ 緊急地震放送とは

緊急地震速報受信端末からの起動信号により、自動で地震放送ができます。

緊急地震放送は、放送の優先順位が最上位で、この放送を行っている間は、非常放送、緊急放送、業務放送、およびマイク放送は行えません。また、停電時も非常放送用の非常電源により放送が可能です。

## ■ 緊急地震放送の動作

緊急地震速報受信端末より緊急地震速報を受信

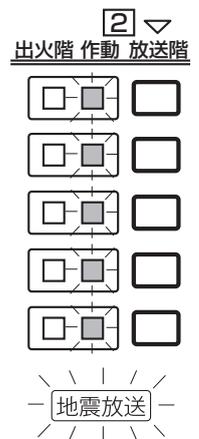


### 1 地震放送中表示灯が点滅し、緊急地震放送が放送される。

チャイム音2回。「地震です。落ち着いて身を守ってください。」

- あらかじめ設定した階すべてに放送されます。  
(手動操作により、放送階に追加・削除を行うことはできません)
- マイク放送はできません。

※緊急地震放送前に放送を行っていた場合は、緊急地震放送終了後、元の放送を再開します。



## A 緊急地震放送を停止させたいときは

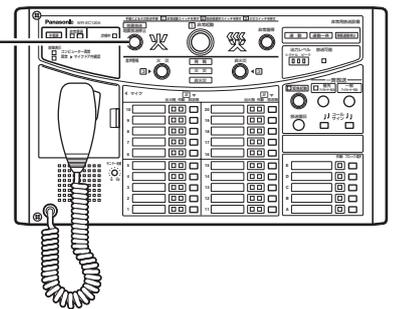
### A-1 地震放送停止スイッチを押す。

緊急地震放送が停止します。

※緊急地震放送前に放送を行っていた場合は、緊急地震放送終了後、元の放送を再開します。



A-1

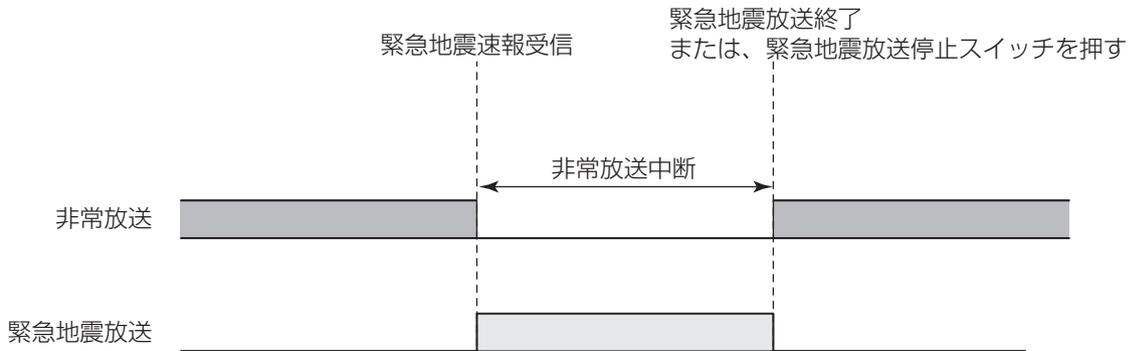


・WK-EK110、WK-EK115、WK-EK120に本機を接続した場合は、「地震放送」表示灯、「地震放送停止」スイッチは動作しません。

## ■ 緊急地震放送を行っているときの非常放送について

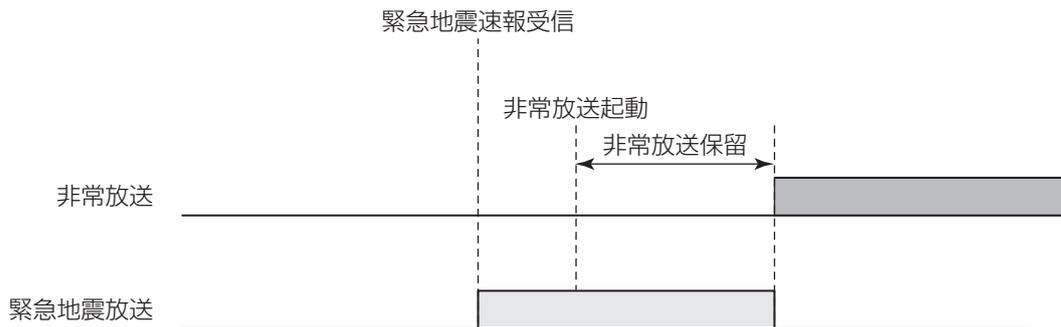
緊急地震放送は、非常放送より優先して放送されます。緊急地震放送中の非常放送の動作は以下の通りです。

### ●非常放送中に緊急地震速報を受信したとき



- 非常放送中に緊急地震速報を受信した場合、非常放送は中断し、緊急地震放送に切り換わります。

### ●緊急地震放送中に非常放送起動入力を受信したとき



- 緊急地震放送中に非常放送が起動した場合、緊急地震放送が優先され、非常放送は保留状態になります。
- 緊急地震放送中は、非常放送に関するスイッチ（火災放送スイッチ、非火災放送スイッチなど）の操作は無効となりますが、非常放送の階別信号や火災確認信号を受信した場合は保留状態となり、緊急地震放送終了後の非常放送状態に反映されます。
- 緊急地震放送中に、非常放送を優先させたいときは、地震放送停止スイッチを押して、緊急地震放送を終了させる必要があります。

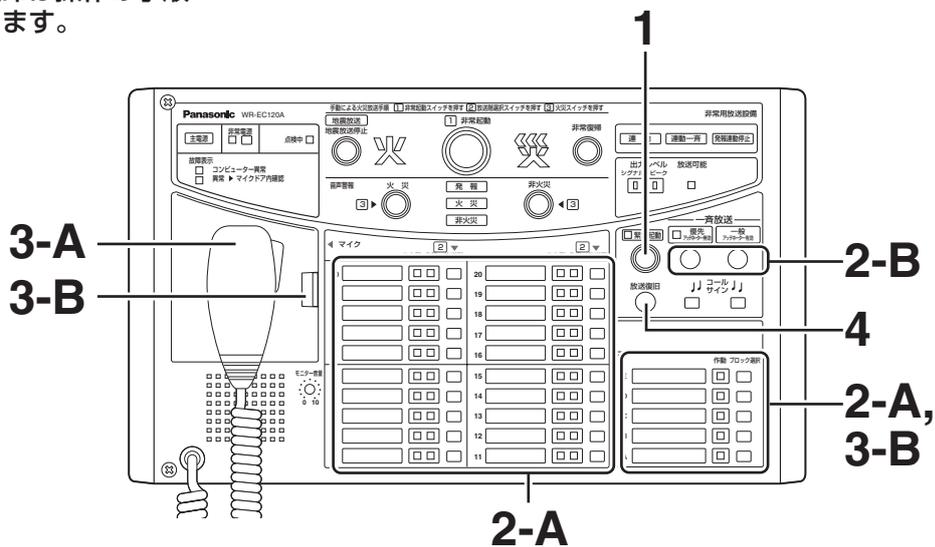
# 緊急放送のしかた

緊急事態発生時に、緊急放送を行うことができます。

※業務放送より優先して放送ができます。

太い矢印は操作の手順を示します。

操作



**1** 緊急起動スイッチを押す。

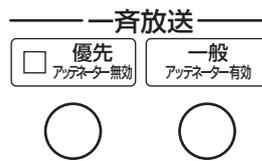


あらかじめ緊急起動スイッチに放送先が登録されている場合は、登録された放送先の階別作動表示灯が点灯します。

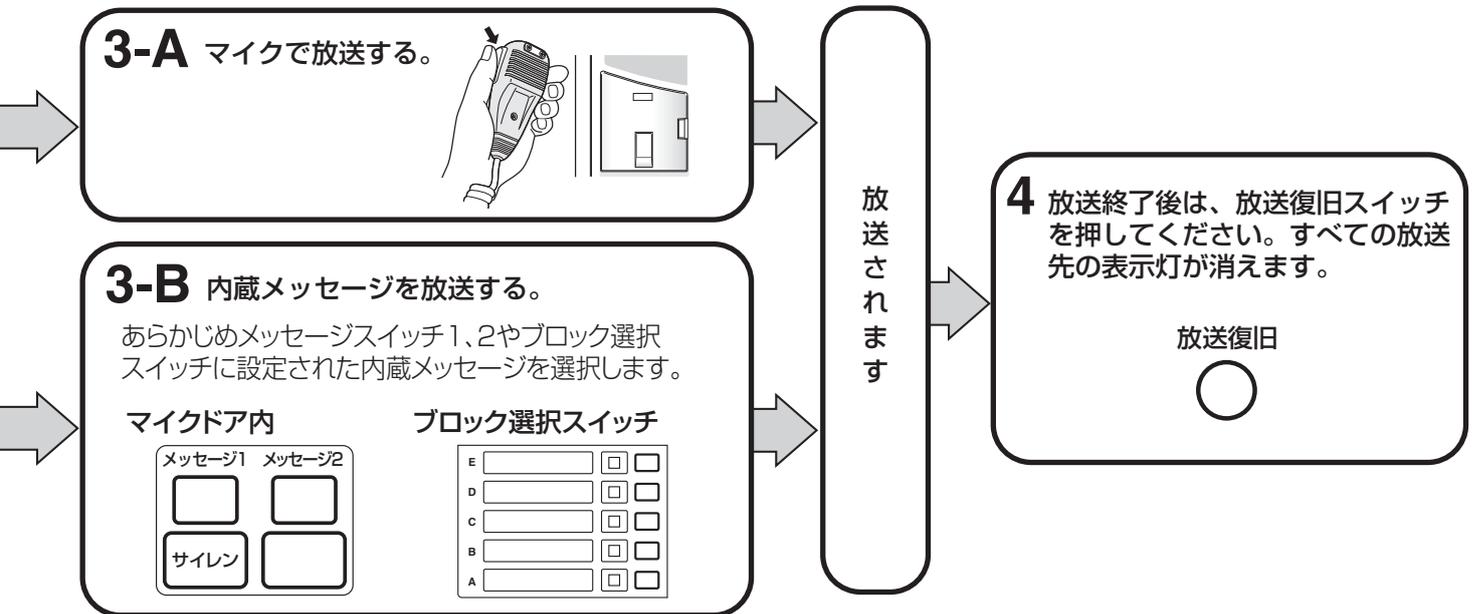
**2-A** 放送先を追加したいときは、放送したい場所の放送階選択スイッチまたは、ブロック選択スイッチを押します。

**2-B** 一斉放送するときには、一斉放送スイッチを押します。

アッテネーター（音量調整器）がOFFでも放送できます。

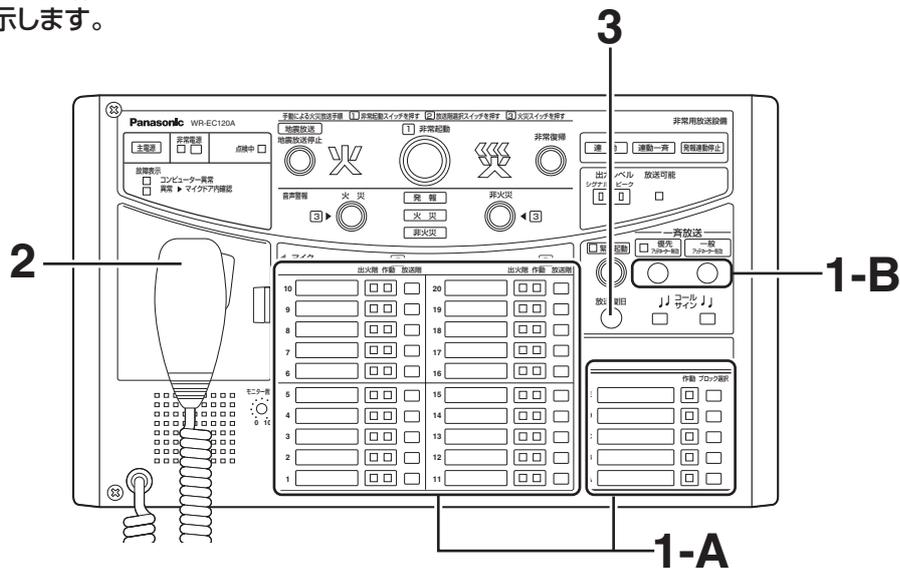


※一般一斉放送スイッチは、優先一斉放送スイッチと同じ動作になります。



# 業務放送のしかた

太い矢印は操作の  
手順を示します。



操作

**1-A** 放送したい場所の放送  
階選択スイッチまたは、  
ブロック選択スイッチ  
を押します。

**1-B** 一斉放送するときは、  
一斉放送スイッチを押  
します。

優先  
アテネーター無効



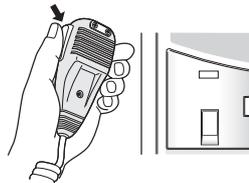
最大音量で放送されます。  
アッテネーター（音量調整器）  
がOFFでも放送できます。

一般  
アテネーター有効



アッテネーター（音量調整器）で  
調整された音量で放送されます。  
OFFのときは放送されません。

**2** マイクで放送する。



放送の前後にコール  
サインスイッチを押して  
ください。



ライン入力に接続された音  
源機器の放送は、内部DIP  
スイッチの設定により、マ  
イク放送中はカット、また  
はミキシングの放送ができ  
ます。

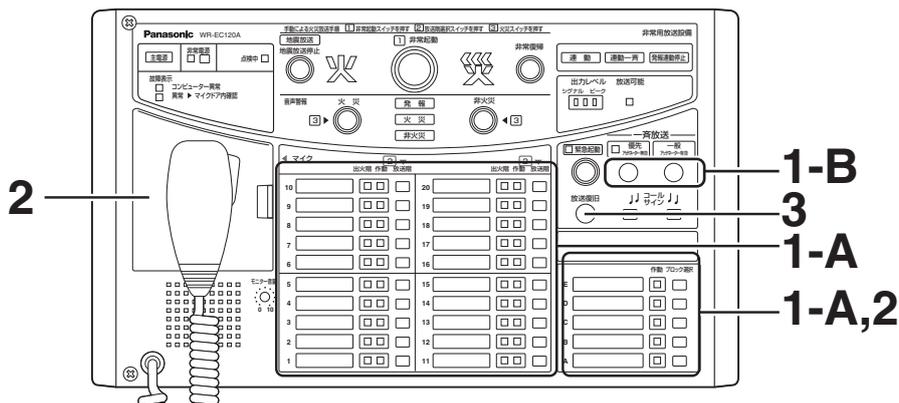
**3** 放送終了後は、放送復旧  
スイッチを押してください。  
すべての放送先の表示  
灯が消えます。

放送復旧



## ●内蔵メッセージの放送

- あらかじめ各スイッチに設定されている内蔵メッセージを放送できます。(設定は、本体側で行います)
- 放送階選択スイッチやブロック選択スイッチ、一斉放送スイッチを押して放送先を選択します。メッセージスイッチ 1 または 2 や、メッセージが書き込まれたブロック選択スイッチを押して内蔵メッセージを選択します。
- 出荷時、メッセージ 1 スwitchには「サイレン音」、メッセージ 2 スwitchには「地震訓練放送 NHK」のメッセージ音声 (内蔵メッセージの 1 番目) が設定されていますが、設定変更可能です。



**1-A** 放送したい場所の放送階選択スイッチまたは、ブロック選択スイッチを押します。

**1-B** 一斉放送するときには、一斉放送スイッチを押します。

**優先**  
アッテネーター無効



〔最大音量で放送されます。  
アッテネーター(音量調整器)が  
OFFでも放送できます。〕

**一般**  
アッテネーター有効



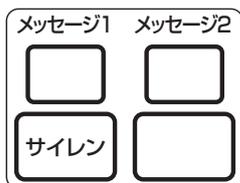
〔アッテネーター(音量調整器)で  
調整された音量で放送されます。  
OFFのときは放送されません。〕

## 2 内蔵メッセージを放送する

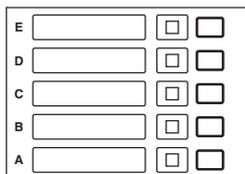
メッセージスイッチ 1、2 やブロック選択スイッチに設定された内蔵メッセージを選択します。

※メッセージスイッチは 1 回押すと連続して繰り返し放送されます。停止する場合は、もう一度押します。

マイクドア内



ブロック選択スイッチ



放送されます

**3** 放送終了後は、放送復旧スイッチを押してください。すべての表示灯が消えます。

放送復旧

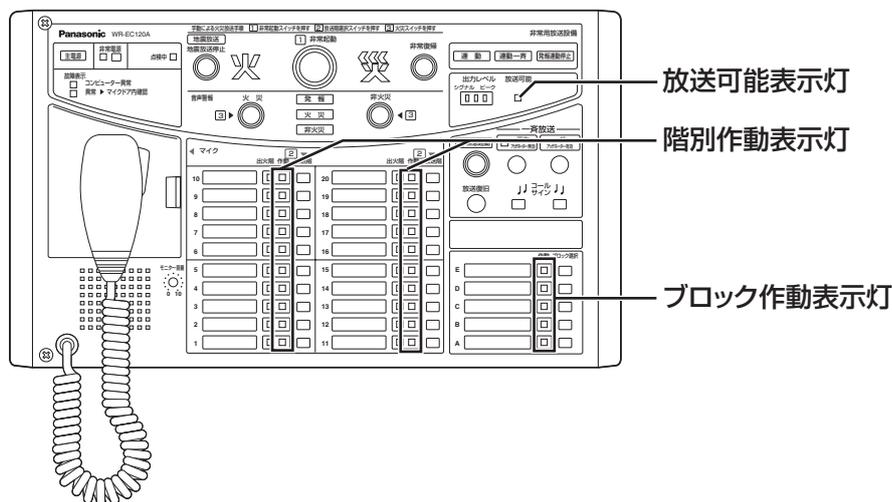


# 相互通話のしかた

放送が行われていないときは、壁掛形非常用放送設備（本体）と非常リモコン間で、本体マイクを使っの相互通話（インターホン）をすることができます。

## ●相互通話のしかた

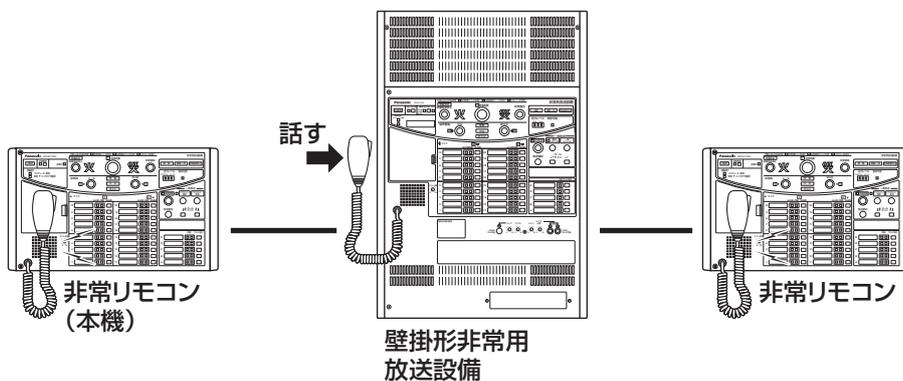
1. 階別作動表示灯、ブロック作動表示灯と放送可能表示灯が消灯し、放送が行われていないことを確認する。



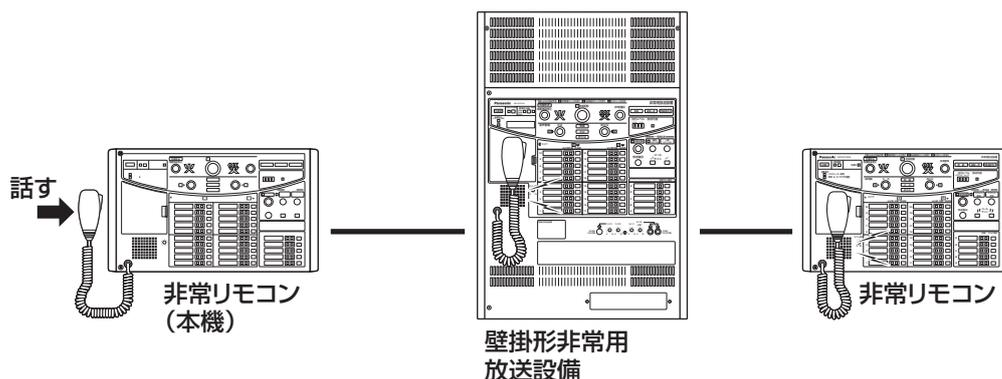
※放送階選択スイッチが押され、表示灯が上記以外の状態になると、マイク音声は選択された階へ放送されます。

2. 本体マイクを取り、マイクスイッチを押しながら話す。

- 壁掛形非常用放送設備の本体マイクからの音声は、つながっているすべての非常リモコンのモニタースピーカーから出力されます。



- 非常リモコンの本体マイクからの音声は、壁掛形非常用放送設備と他の非常リモコンのモニタースピーカーから出力されます。



# 日常点検

- 重要** 万が一の際、的確に機器が動作するよう日常点検を行ってください。日常点検時に異常を発見したときは、直ちに販売店または保守契約店にご連絡ください。修理、復旧を実費で行います。詳しくは、販売店にご相談ください。

## ■ 電源の点検

### ● 主電源の点検

操作パネルの主電源表示灯が点灯していることを確認する。  
本体から供給される DC24 V 電源が動作電圧以下のときは消灯します。  
停電時は消灯します。

### ● 非常電源電圧の点検

表示灯は通常消灯しています。  
**非常電源電圧点検スイッチを押して、非常電源電圧を確認する。**  
非常電源電圧が正常のときは点灯します。  
動作電圧以下のときは点灯しません。  
点灯しない場合、非常用放送設備内蔵の蓄電池が充電されていないか、蓄電池が寿命の可能性あります。(蓄電池の寿命は約 4 年です)

## ■ 異常時の表示について

- コンピューターが異常を発見したときは、操作パネル左上の異常表示灯が点灯します。

### 「コンピューター異常」が点灯：

内蔵のコンピューターに異常が発生した可能性があります。  
マイクドア内のコンピューター制御スイッチを「切」にすると、緊急対応として本体マイクおよびライン入力で一斉放送を行うことができます。

### 「異常」が点灯：

異常内容はマイクドア内の表示灯の点灯で表示します。

- マイクドアを開け、どこの異常かを確認してから、販売店、保守契約店に連絡してください。ブザー音は、操作パネル面のいずれかのスイッチを押すと鳴動が止まります。

### 「マイク異常」が点灯：

本体マイクが断線状態になっています。

### 「回線短絡」が点灯：

放送を行おうとしたスピーカー回線が短絡しています。  
短絡した階の階別作動表示灯が点滅します。

### 「蓄電池異常」が点灯、ブザー音が鳴動：

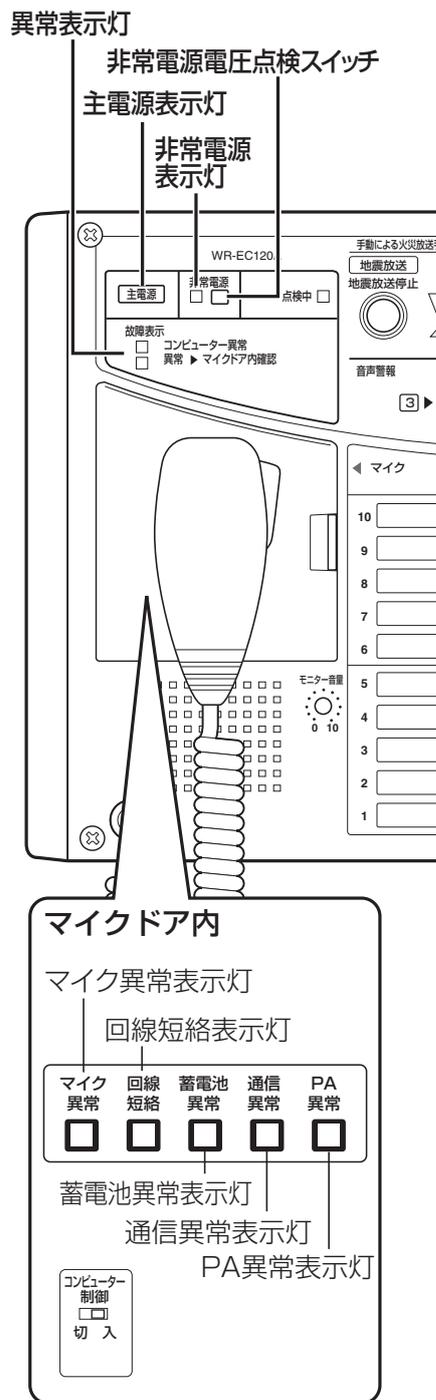
非常用放送設備の蓄電池の電圧が動作電圧以下です。蓄電池を交換してください。

### 「通信異常」が点灯、ブザー音が鳴動：

非常用放送設備と非常リモコン間の通信に異常があります。

### 「PA 異常」が点灯：

非常用放送設備に組み込んだ電力増幅ユニットに異常があります。





# 工事説明



## 警告

傷害防止のため、この機器は、工事説明書にしたがって壁にしっかりと取り付けする必要があります。  
工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にし、本機に電源を供給する壁掛形非常用放送設備（以下、本体）を接続した分電盤のブレーカーを「切」にしてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示にしたがってください。接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

## ■ 付属品をご確認ください

工事を始める前に付属品をご確認ください。

型紙..... 1枚  
ゴム足..... 4個  
束線バンド..... 1本

グロメット..... 1個  
マイクロホン..... 1個  
目隠しラベル..... 1枚

## ■ 設置上のご注意

設置工事は電気設備技術基準にしたがって実施してください。

### ●本機は屋内専用です

屋外での使用はできません。

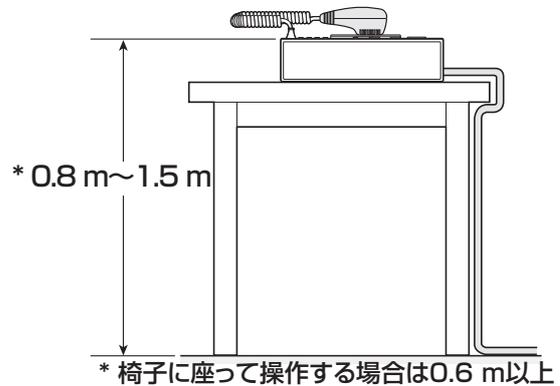
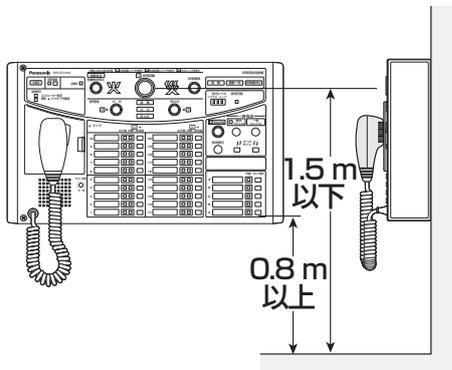
長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

### ●取り付け高さ

- ・ 非常起動スイッチから操作スイッチ下部までが、床面から 0.8 m ~ 1.5 m の範囲に収まるように取り付けください。

・ 壁掛け型で使用する場合

・ 卓上型として使用する場合



### ●以下の場所には設置しないでください

- ・ 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。機器の誤動作の原因となります。

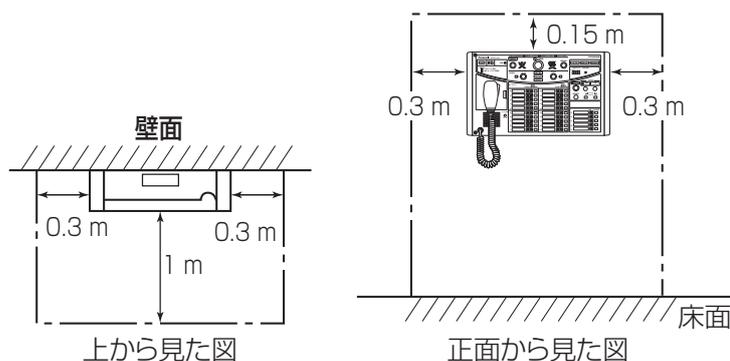
# 工事説明

## ●取り付け壁面の強度

- 本機は 50 kg 以上の荷重に耐えられるコンクリート壁面や 20 mm 以上の板壁面に取り付けてください。
- 化粧合板やボード製の壁面には取り付けないでください。落下などでけがの原因になります。

## ●周囲に障害物を置かない

- 下図の範囲内に障害物を置かないで、空間を確保してください。



## ●「非常放送のしかた」手順書は設定した起動方式を表にする

- 設定起動は、各ページ表題の下に記載しています。
- 透明ケースから取り出し、設定した起動方式のページを表にし、裏面は一緒に入れてある白紙でかくして、再度透明ケースに入れてください。

## ●「非常放送のしかた」手順書は本機のそばに置く

- 非常時に確実に操作できるように、本機の近くに置いてください。

## ●アースを必ずとってください

## ●静電気について

- 静電気による破損を防止するために、作業を始める前にパネルなどの金属部に手を触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。

## ●ケーブルの引き込みについて

- 卓上型として使用する場合、本機に引き込むケーブルは上下面通線口から入れてください。消防用認定耐熱対形ケーブル（ペア線）の線径が太いため、底面側から入れるとケーブルで本機が浮き上がり、安定しません。

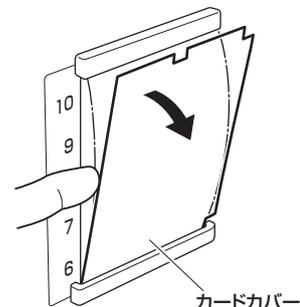
## ●本体側で非常リモコンの台数設定を行う

- 非常リモコンを本体に接続するときは、本体で台数設定（書き込み）を行ってください。
- 設定値と接続台数が不一致の場合、非常リモコンに電源が投入されると、非常リモコンのモニタースピーカーから異常表示のブザー音が鳴ります。

## ●放送先名称の表示について

放送階選択スイッチ表示部、ブロック選択スイッチ表示部には、割り当てた放送先の名称を記入する表示カードが付いています。表示カードへの記入は、以下の手順で行います。

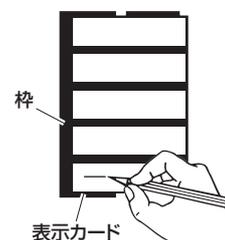
- ①表示カードの上に取り付けられているカードカバー中央部に爪をかけ、持ち上げながら手前に引いて、カードカバーを外します。
- ②表示カードを取り外します。



- ③割り当てた放送先の名称を、表示カードに記入します。

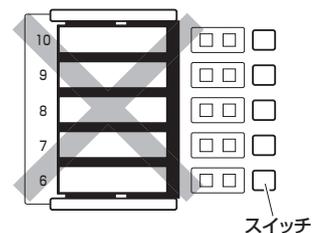
枠のない側を右（スイッチ側）に向けて、記入してください。

市販のラベルに記入して貼り付けるときは、高さ 10 mm 以下、長さ 40 mm 以下のラベルを使用してください。



- ④記入が終わりましたら、表示カードとカードカバーを元通り本機に取り付けてください。

表示カードの向きが逆にならないよう注意してください。

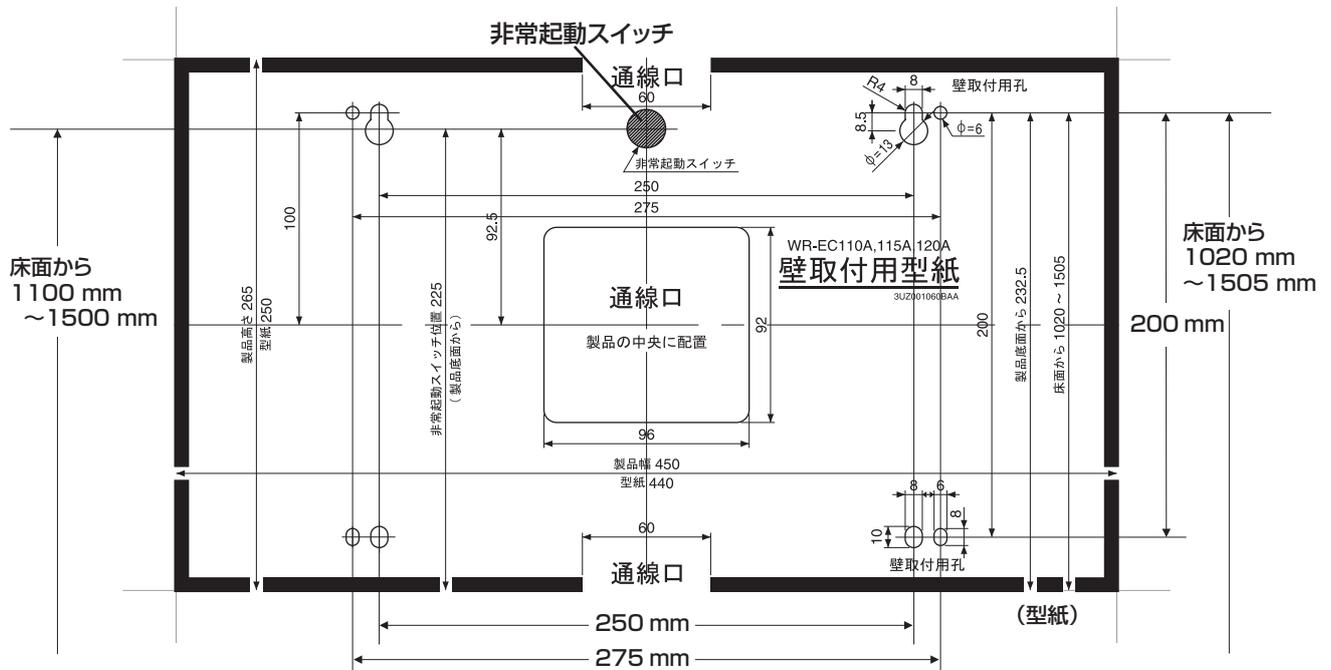


# 設置のしかた

## ■ 壁面に取り付ける場合

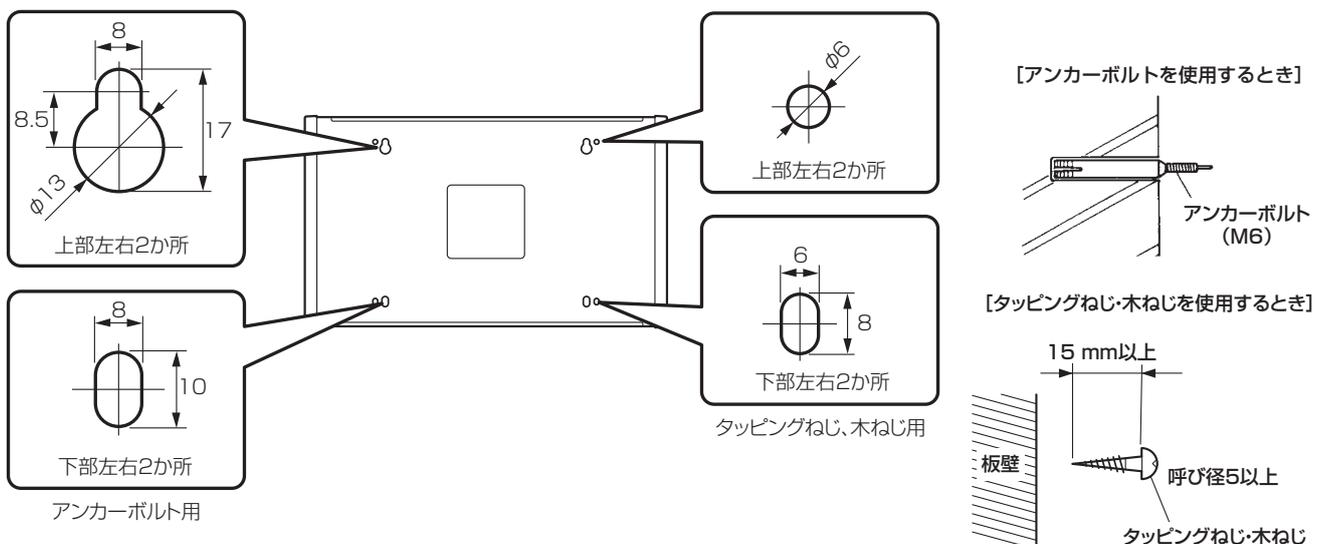
### ● 型紙を使用して高さを決める

- ① 付属の型紙幅から左右それぞれ 30 cm 以上の空間が確保できる壁面に、非常起動スイッチの位置が床面から 1.1 m ~ 1.5 m の高さになるように貼り付けます。



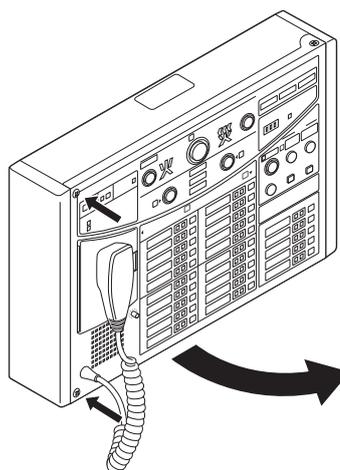
- ② 壁紙に合わせて 4 か所の取り付け孔をあけ、アンカーボルトを打ち込みます。

アンカーボルトが使用できない板壁などに取り付けるときは、タッピングねじ、または木ねじを使用して取り付けます。(アンカーボルト用孔の外側の孔を使用してください)



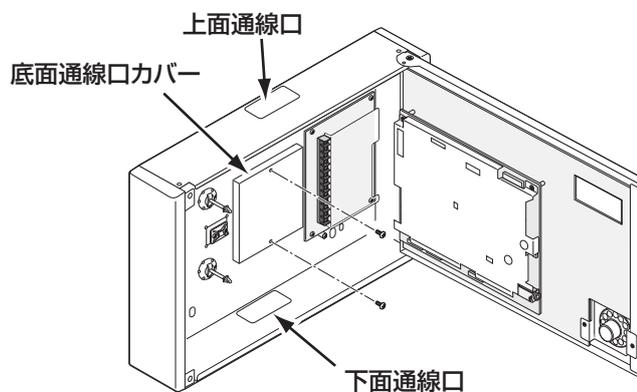
・ アンカーボルト、タッピングねじ、木ねじの引き抜き強度は 1 本あたり 50 kgf 以上を確保してください。

③操作パネルのねじを緩め、操作パネルを開きます。



④通線口を開けます。

底面の通線口カバーを外します。

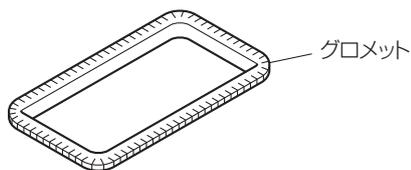
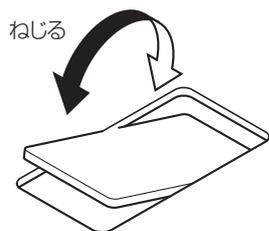


• 上下面から引き入れるとき

上下面の通線口をペンチなどで両端を押して上下させ、ねじって外してください。

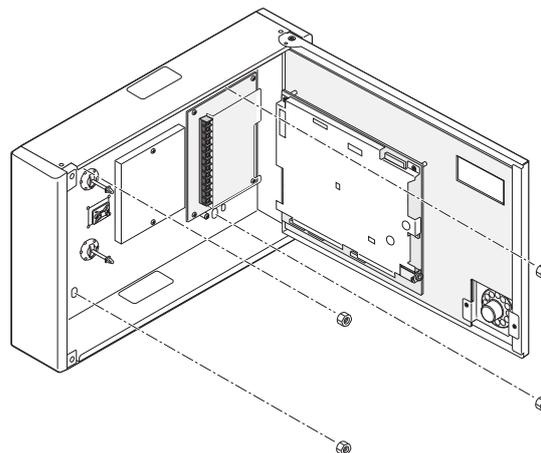
上下面の通線口はノック形状になっています。

外した通線口の端面でケーブルを傷つけないように、付属のグロメットを端面に取り付けます。



⑤本機を壁面に取り付けます。

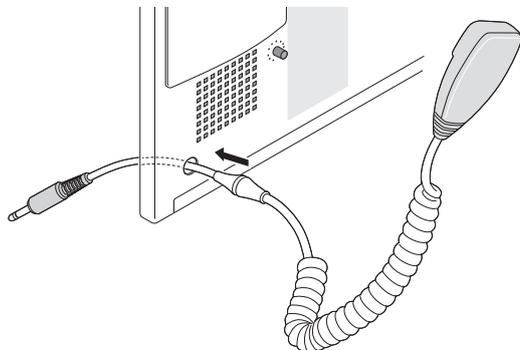
壁面に打ち込んだアンカーボルトに本機の取り付け孔を掛けて乗せ、ナットで固定します。めねじタイプのアンカーボルトまたはタッピングねじ、木ねじを使用したときは、上側2か所を仮止めして本機の取り付け孔を掛けて乗せ、そのあと本締めして固定します。



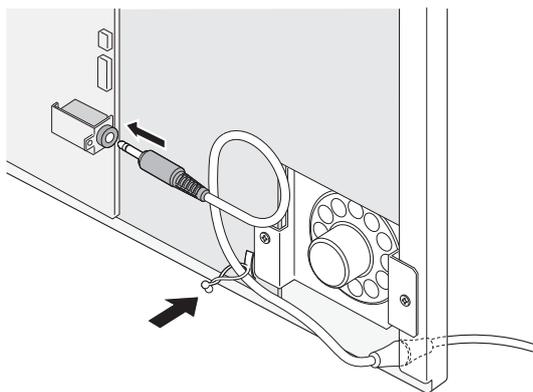
# 設置のしかた

## ■ マイクロホンの接続

①本機に付属のマイクロホンを下図のように操作パネル孔に通し、ブッシングで固定します。



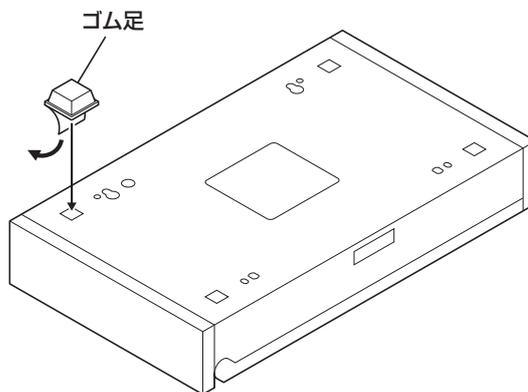
②マイクロホンプラグを CPU 基板のマイクロホンジャックに接続します。  
マイクロホンコードを下図のように、コードクランプします。



## ■ 卓上に置く場合

### ● ゴム足を取り付ける

本機を裏返して、付属品のゴム足を取り付けます。



# 接続のしかた

## ■ 配線と結線

### ● 線種と線径について

非常用放送設備本体 (WK-EK110A/WK-EK115A/WK-EK120A) との接続線

- 必ず消防用認定耐熱対形ケーブル (ペア線) : 6 対以上を使用してください。

6 対 (6 ペア) の内訳は、信号線で 5 ペア、電源線で 1 ペアです。

※電源線 (24 V と 0 V) の本数を増やすと、距離を伸ばせます。

・ 1 ペア増やすと距離は 2 倍

・ 2 ペア増やすと距離は 3 倍

電源線を考慮して、線径  $\phi$  1.2 mm の 7 対 (7 ペア) 以上のケーブルを通線してください。

7 ペア - 5 ペア = 2 ペア…電源線で利用できるペア数

300 m  $\times$  2 ペア = 600 m の延長距離となります。

### ● データ線 (LB +、LB -) の接続と距離について

データ線の総延長距離は、1000 m までです。

線径(mm)	$\phi$ 0.65	$\phi$ 0.9	$\phi$ 1.2	$\phi$ 1.6	$\phi$ 2.0
導体抵抗 ( $\Omega$ /km, 20 $^{\circ}$ C)	56.8	29.2	16.5	9.29	5.94
信号線(m) (50 $\Omega$ 以下)	880	1000	1000	1000	1000
電源線(m) (5 $\Omega$ 以下)	88	170	300	530	840

注意：片線の線路抵抗値です。

### ● アース線について

アースは必ずとってください。

### ● 先端処理について

アース線の先端に丸端子を取り付けて先端処理を行ってください。丸端子は JIS-C2805 RAV1.25-4 (適用電線断面積 0.25 mm<sup>2</sup> ~ 1.65 mm<sup>2</sup>) に適合するものをご使用ください。

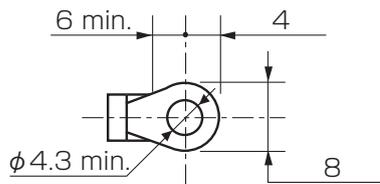
# 接続のしかた

## ●配線と結線について

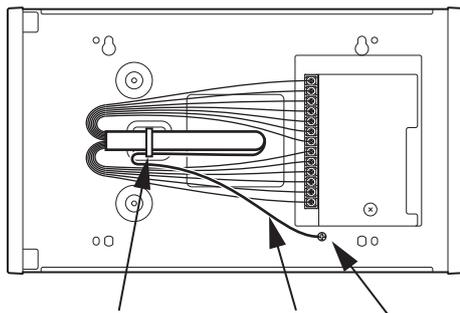
電源線、信号線などのケーブルを底面側通線口または上下面の通線口から本機内に引き入れます。

### ①引き入れたケーブルを、付属のバンドで固定します。

- 端子台にケーブルを結線します。
- アース線を結線します。(アースは必ずとってください)
- アース線の先端に丸端子を取り付けてください。丸端子は JIS-C2805 RAV1.25-4 (適用電線断面積  $0.25 \text{ mm}^2 \sim 1.65 \text{ mm}^2$ ) に適合するものをご使用ください。



(底面から引き入れたとき)



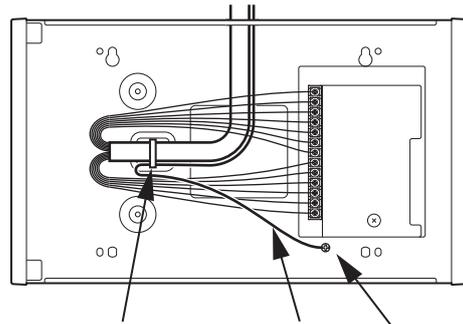
バンドで固定する

アース線

SIGNAL GND



(上面から引き入れたとき)



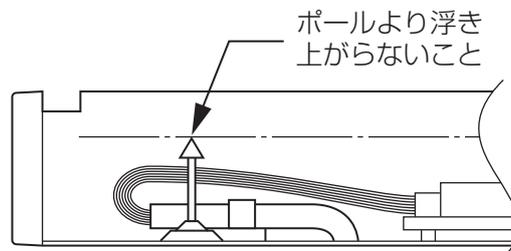
バンドで固定する

アース線

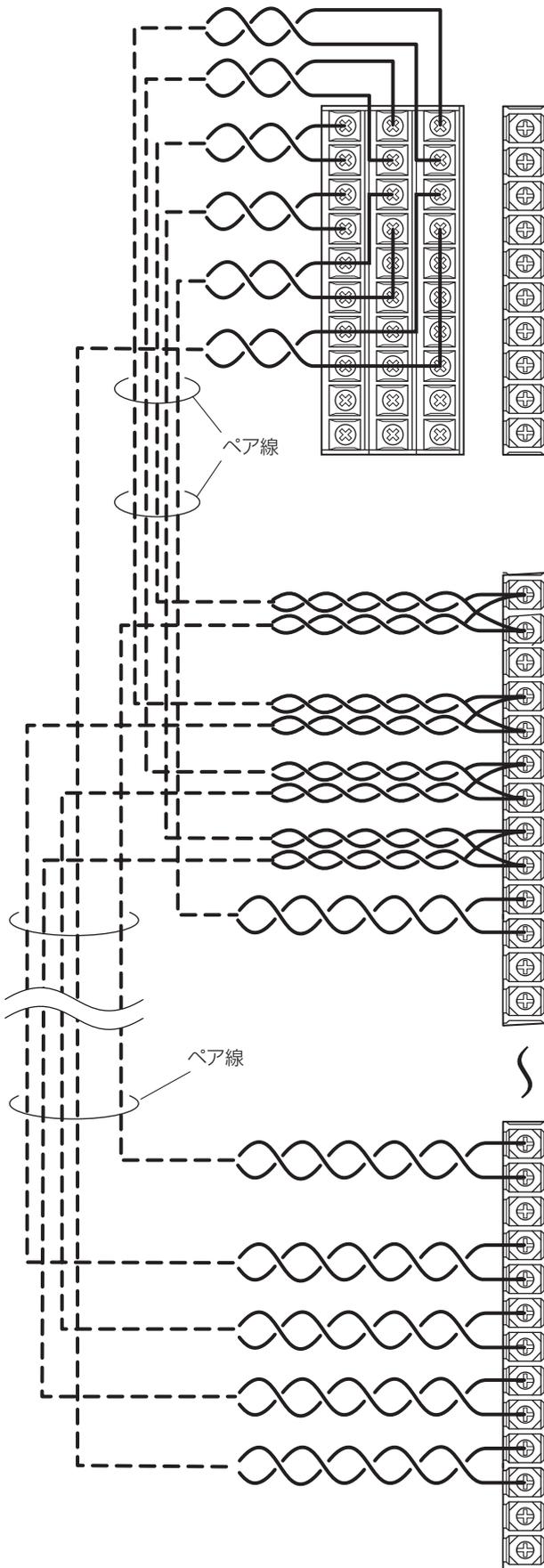
SIGNAL GND



- ### ②端子台に結線したケーブルがケーブル引きまわし面に立つポールより浮き上がらないように、シャーシ面側に押し付けてください。



## ●非常用放送設備との接続図



非常用放送設備本体側

DC24V 最大1.2A		CPU OFF		LB+		遠隔操作器 (非常リモコン)	EF	火災確認信号
OV COM		EMG		LB-			EC	
H C	モ タ ー 出 力 1	H C	ラ イ ン 入 力 1 (3)	H C	ラ イ ン 入 力 2 (4)		緊急起動	
端子名称を省略しています。								

非常リモコン側  
端子(1台目)

DC24V
OVCOM
緊急起動出力
LB+
LB-
CPUOFF
EMG
モニター入力C
モニター入力H
音声出力C
音声出力H
ライン入力E
ライン入力H

非常用放送設備  
本体側

DC24V	DC24V
OVCOM	OVCOM
緊急起動	緊急起動出力
LB+	LB+
LB-	LB-
CPUOFF	CPUOFF
EMG	EMG
モニター出力	モニター入力C
C	モニター入力H
H	音声出力C
ライン入力1	音声出力H
(3)	
C	
H	

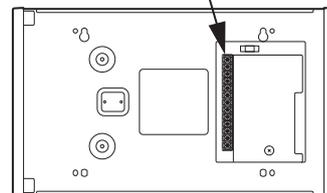
非常リモコン側

ライン入力1(3)には、1台目、3台目を接続してください。  
ライン入力2(4)には、2台目、4台目を接続してください。

非常リモコン側  
端子(4台目)

DC24V
OVCOM
緊急起動出力
LB+
LB-
CPUOFF
EMG
モニター入力C
モニター入力H
音声出力C
音声出力H
ライン入力E
ライン入力H

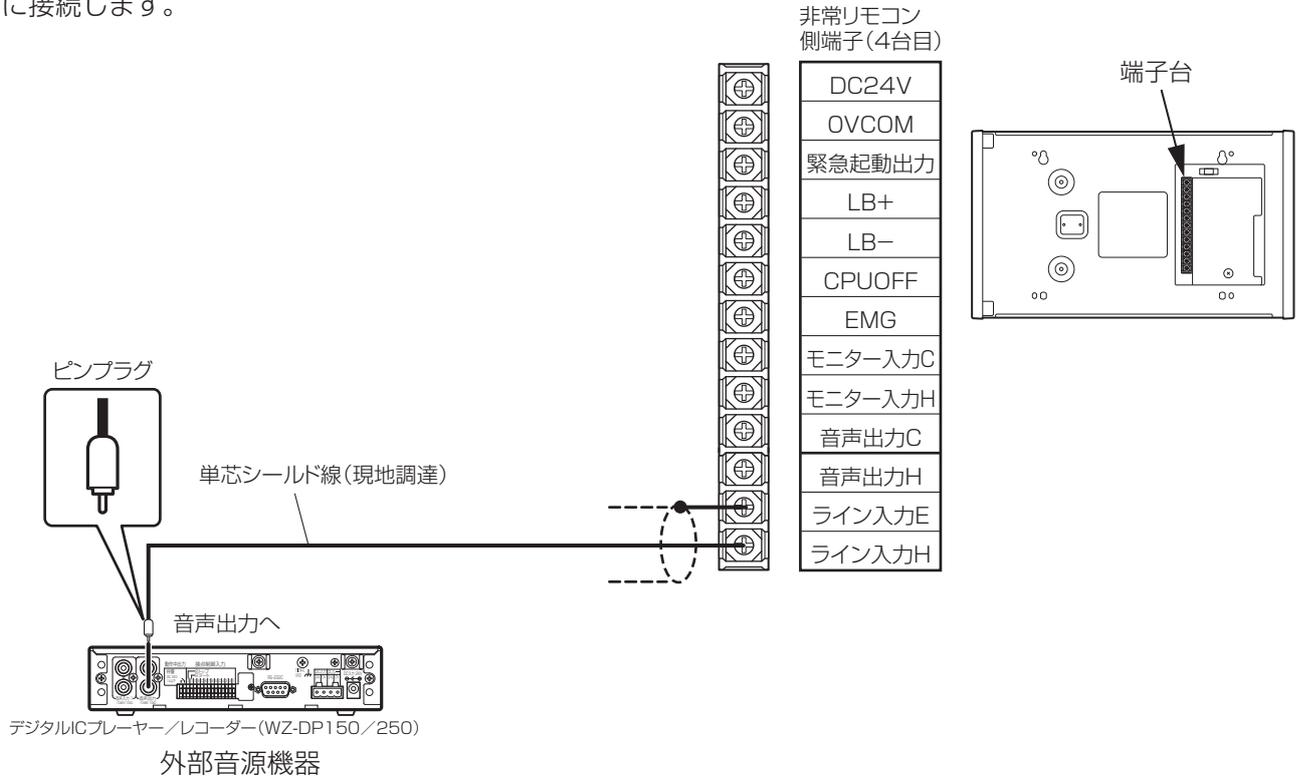
端子台



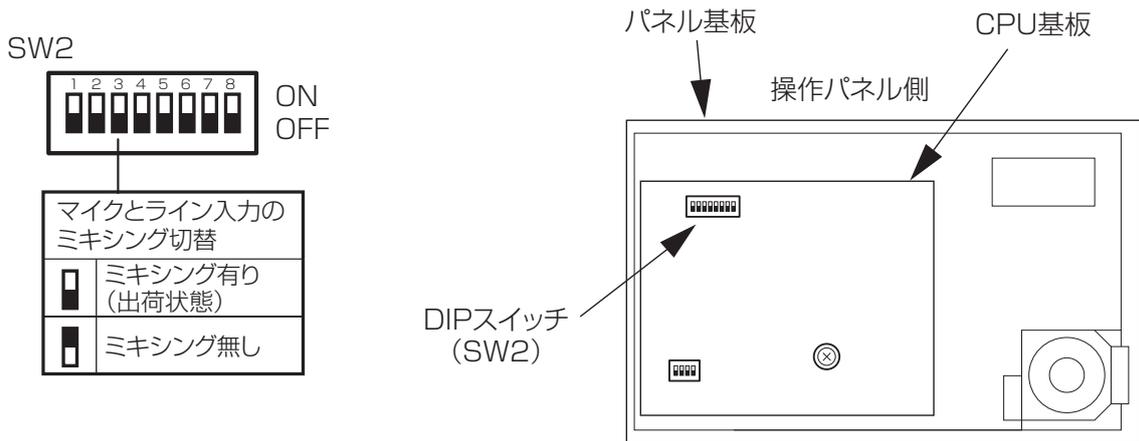
# 接続のしかた

## ■ ライン入力の接続

本機からデジタルICプレーヤー等の外部音源機器の放送を行うときは、外部音源機器のライン出力を本機のライン入力に接続します。



本体マイクからの放送を優先させてライン入力の放送を止めるときは、DIPスイッチ SW2の3を「ON」にします。(出荷状態は「OFF」です)



# 設置時の点検

設置が終わりましたら、以下の項目を点検してください。

## ■ 機器内部の設定・調整

### ● 接続・配線の点検

すべての接続が終わり、非常用放送設備本体側の常用電源スイッチを「入」にする前に、本機の配線・接続、各ユニット間のケーブル接続および外部配線を再度確認してください。

### ● 機器内部の設定

本機のアドレスや、マイクとライン入力のミキシング切替、終端抵抗設定を確認してください。

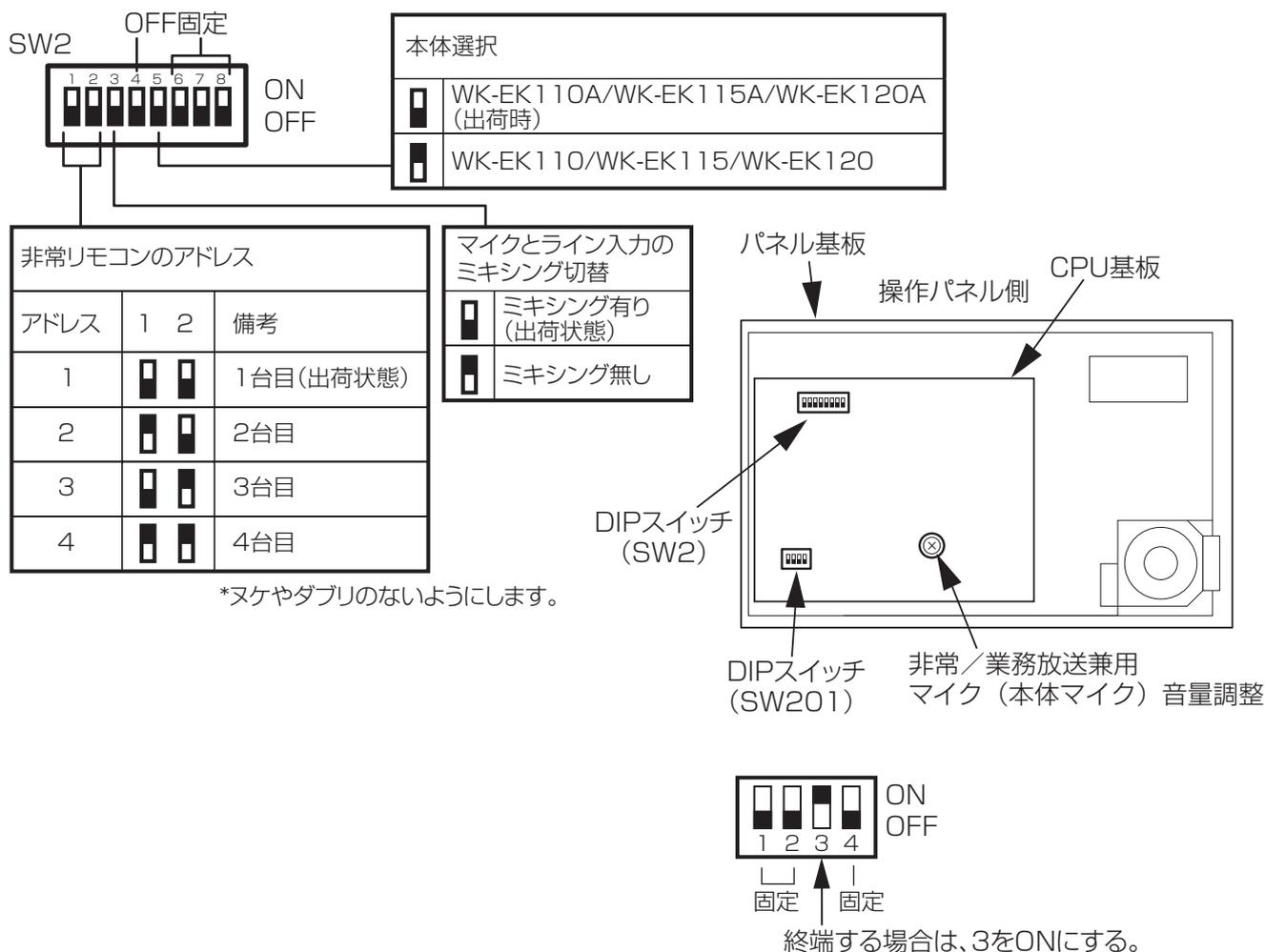
#### ① ディップスイッチの設定 (DIP スイッチ SW2)

- 1、2 で、本機のアドレスを設定します。
- 3 でマイクとライン入力のミキシング有無を設定します。
- 5 で、本機を接続する本体を設定します。

出荷時は、WK-EK110A、WK-EK115A、WK-EK120A に設定されています。

#### ② ディップスイッチの設定 (DIP スイッチ SW201)

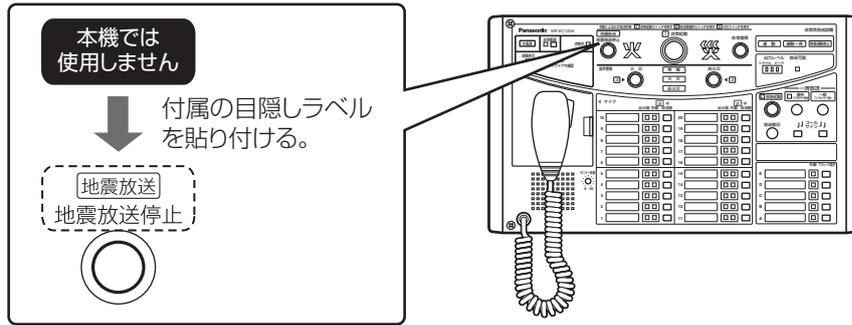
- 非常用放送設備本体と接続する際の終端抵抗の ON / OFF 設定を行います。
- SW201 3 → 終端抵抗 ON / OFF スイッチ (※出荷状態は「OFF」です)



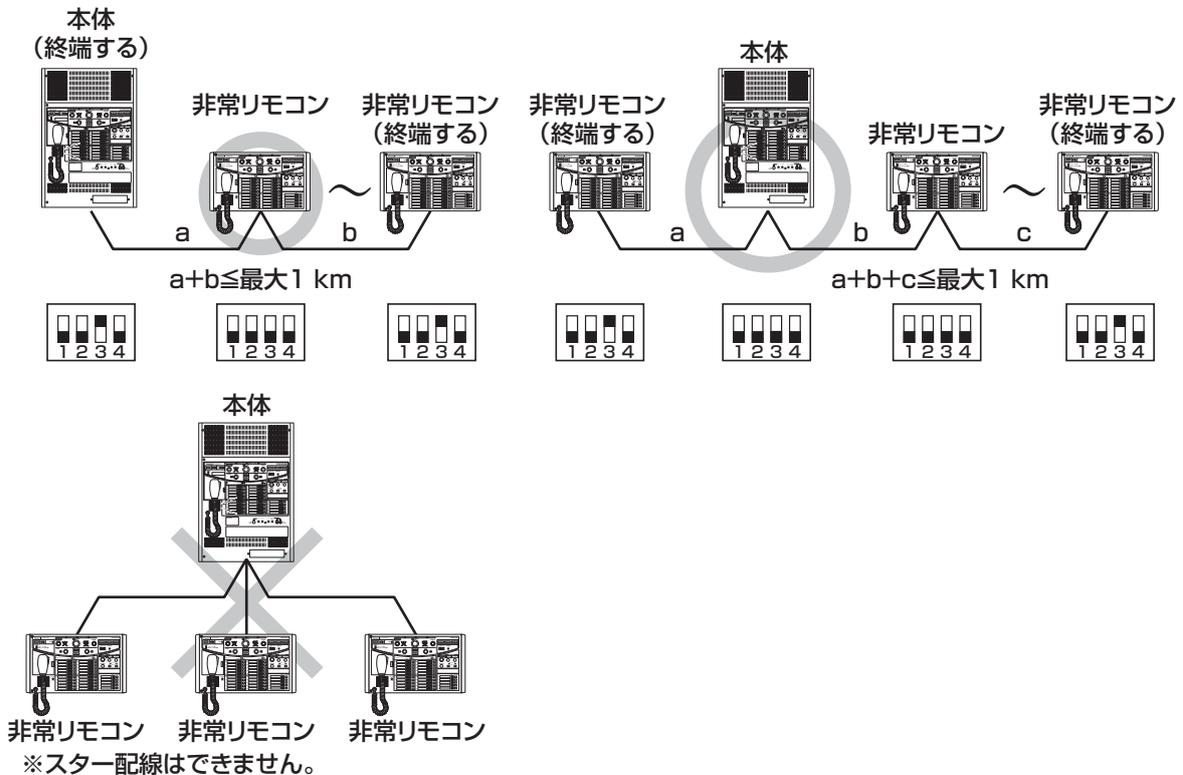
# 設置時の点検

## ●本機を WK-EK110/WK-EK115/WK-EK120 と接続する場合

- 本機は、WK-EK110/WK-EK115/WK-EK120（緊急地震放送非対応）に接続し、WK-EK110/WK-EK115/WK-EK120 の非常リモコンとして使用できます。
- WK-EK110/WK-EK115/WK-EK120 に接続する場合は、SW2 の No.5 を「ON」に設定してください。
- WK-EK110/WK-EK115/WK-EK120 に接続した場合には、本機地震放送表示灯、地震放送停止スイッチは動作しません。付属の「本機では使用しません」目隠しラベルを本機のパネル面の「地震放送」表示灯、「地震放送停止」スイッチの名称表示の上に表示が隠れるように貼り付けてください。



## ●接続例



## ●電源の投入と点検

### ①本体の常用電源スイッチを「入」にします。

本体の書き込み設定で非常リモコンの台数設定を接続台数と一致させてください。（※出荷時の台数設定は0台です）

台数設定が接続台数と不一致の場合、非常リモコンに電源が投入されると、非常リモコンのモニタースピーカーから異常表示のブザー音が鳴ります。このときは、任意の放送階選択スイッチを押してブザー音を止め、本体の書き込み設定で非常リモコンの台数設定を変更してください。

### ②本機の主電源表示灯が点灯していることを確認してください。

## ●書き込み設定

本体で書き込み設定を行います。

## ●調整

### • 非常／業務放送兼用マイク（本体マイク）音量調整

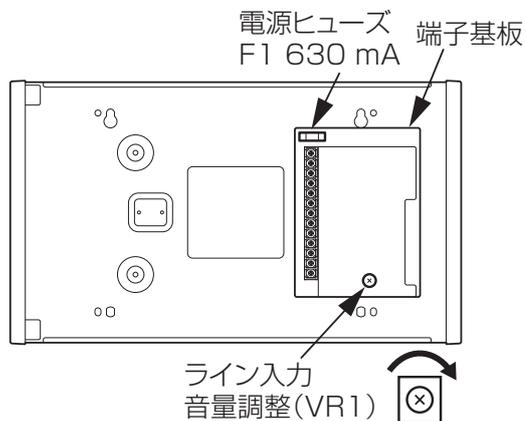
非常／業務放送兼用マイク（本体マイク）の音量を調整します。

### • ライン入力の調整

矢印方向で音量が大きくなります。（出荷状態：最小）  
端子台表示シートをめくり、基板上的ライン入力音量調整（VR1）を調整します。

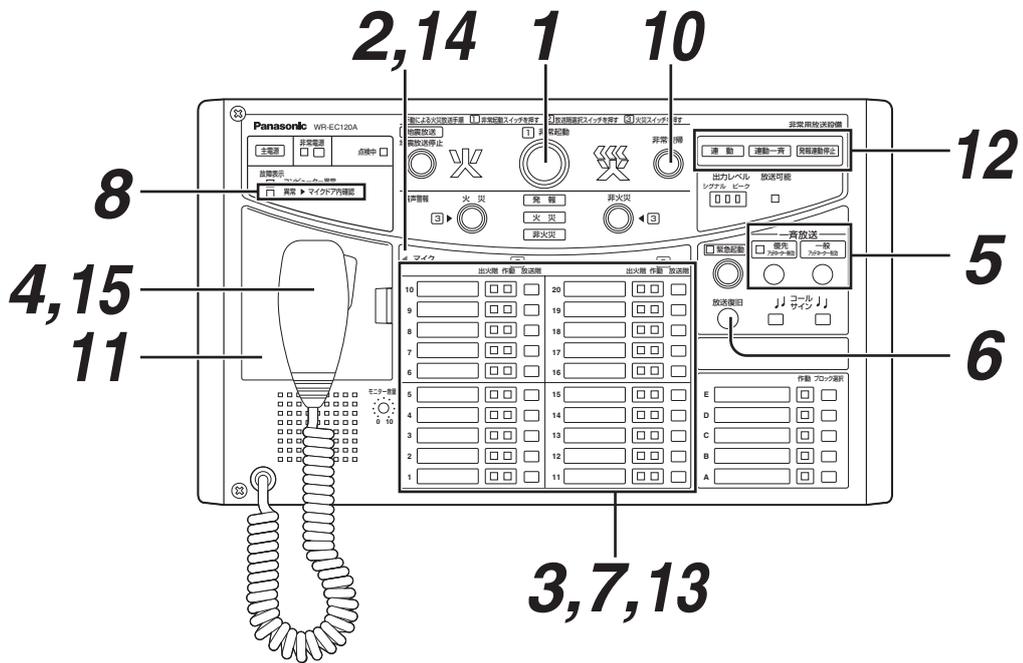
### • 電源ヒューズ

本機の電源回路の保護ヒューズです。



# 設置時の点検

## ■ 動作点検 (非常放送)



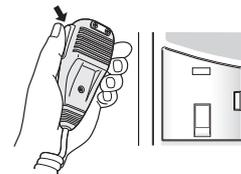
**1** 手で非常起動スイッチを押します。火災灯が点滅し、放送階選択指示灯が点滅しますか？

**2** マイク指示灯が点滅していますか？ モニタースピーカーより操作指示音（「放送階選択スイッチを押せ」）が流れていますか？

**3** 放送階選択スイッチを 1 か所押します。発報放送表示灯と押された階の階別作動表示灯が点灯し、発報放送が鳴りますか？

**4** マイクを取り、放送します。マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、発報放送が止まり、放送が **3** で押された階に流れますか？

スイッチを押す



**5** 一斉放送の一般一斉スイッチを押し、マイク放送します。すべての階の階別作動表示灯が点灯し、全館に放送が流れますか？

**6** マイク放送終了後は、放送復旧スイッチを押します。  
階別作動表示灯が消えスピーカー放送も切れますか？  
モニタースピーカーより操作指示音声（「放送階選択スイッチを押せ」）が流れていますか？

- 放送階選択指示灯が点滅します。

**7** 任意の放送階選択スイッチを2、3か所押します。  
放送階選択指示灯が点灯し、階別作動表示灯が点灯しますか？

**8** 7で押した階のいずれか一つのスピーカー回線を短絡させます。火災または非火災放送スイッチを押して放送します。  
短絡させた階の階別作動表示灯が点滅しますか？  
故障表示灯の異常表示が点灯しますか？  
マイクドア内の回線短絡表示灯が点灯しますか？

- 短絡状態を解除します。

**9** 8の状態、分電盤のブレーカーを「切」にします。  
8の状態が継続していますか？  
(確認後、すぐに分電盤のブレーカーを「入」にしてください)

**10** 非常復旧スイッチを押します。  
火災灯、放送階選択指示灯、点灯している階別作動表示灯、マイク指示灯が消えますか？

**11** 本機のコンピューター制御スイッチを「切」にしてから「入」にしてください。  
故障表示灯（異常表示灯）が消えますか？

**12** 書き込みモードで連動一斉に設定します。  
連動一斉表示灯が点灯しますか？  
(非常用放送設備本体側で設定します)

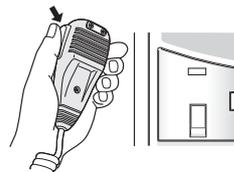
**13** 非常用放送設備本体（以下、本体）の階別信号入力端子をショートします。  
火災灯が点滅、全館に発報放送が流れ、放送階選択指示灯、出火階表示灯、すべての階別作動表示灯が点灯しますか？(ブロック作動灯は点灯しません)

- 発報放送終了後、モニタースピーカーから火災音信号（ピーピーピー）が鳴動します。

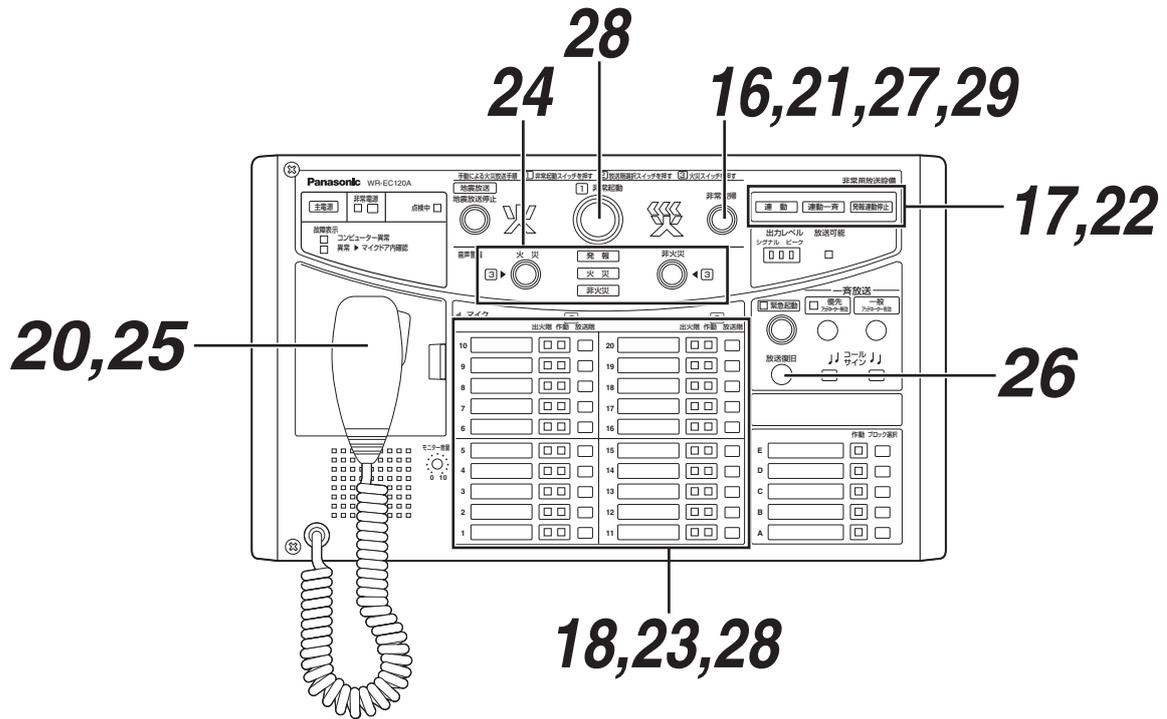
**14** マイク指示灯が点滅していますか？

**15** マイクを取り、放送します。  
マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、火災音信号（ピーピーピー）が止まり、放送が全館に流れますか？

スイッチを押す



# 設置時の点検



**16** 本体の階別信号入力端子を復旧し、非常復旧スイッチを押します。火災灯、放送階選択指示灯、出火階表示灯、すべての階別作動表示灯が消えますか？

**17** 書き込みモードで連動に設定します。連動表示灯が点灯しますか？（本体側で設定します）

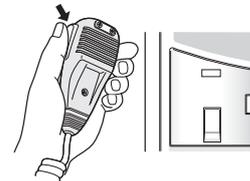
**18** 本体の階別信号入力端子をショートします。火災灯、マイク指示灯が点滅し、発報放送が流れ、放送階選択指示灯、出火階表示灯、出火連動階設定で書き込まれた出火階および連動階の階別作動表示灯が点灯しますか？

- 1つの階に複数の室があるときは、その階のすべてが点灯します。
- 発報放送終了後、モニタースピーカーから火災音信号（ピーピーピー）が鳴動します。

**19** 本体の火災確認信号端子をショートします。火災灯、火災放送表示灯が点灯し、出火階、連動階に火災放送が流れますか？

**20** マイクを取り、放送します。マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、火災放送が止まり、出火階、連動階に放送が流れますか？

スイッチを押す



- マイクで放送したあと、マイクスイッチを切ると第2シグナル音（ビュービュービュー）が鳴動します。

**21** 本体の階別信号入力端子と火災確認信号端子を復旧し、非常復旧スイッチを押します。  
火災灯、放送階選択指示灯、出火階表示灯、出火階および連動階の階別作動表示灯が消えますか？

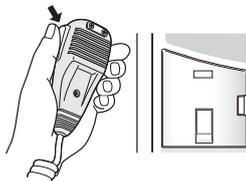
**22** 書き込みモードで発報連動停止に設定します。  
発報連動停止表示灯が点灯しますか？  
(本体側で設定します)

**23** 本体の階別信号入力端子をショートします。  
火災灯が点滅し、モニタースピーカーから火災音信号（ピーピーピー）が鳴り、出火階表示灯、出火階および連動階の階別作動表示灯が点灯しますか？  
● 1つの階に複数の室があるときは、その階のすべてが点灯します。

**24** 火災放送スイッチを押します。  
火災放送表示灯が点灯し、自動的に出火階、連動階に火災放送が流れますか？（火災放送は次の操作まで繰り返し流れます）  
非火災放送スイッチを押します。  
非火災放送表示灯が点灯し、非火災放送が流れますか？（非火災放送は、2回流れます）

**25** マイクを取り、放送します。  
マイクスイッチを押すと、マイク指示灯が点灯し、非火災放送が止まり、出火階、連動階に放送が流れますか？

スイッチを押す



**26** 放送終了後は放送復旧スイッチを押します。  
階別作動表示灯が消灯、放送階選択指示灯、マイク指示灯が点滅しますか？

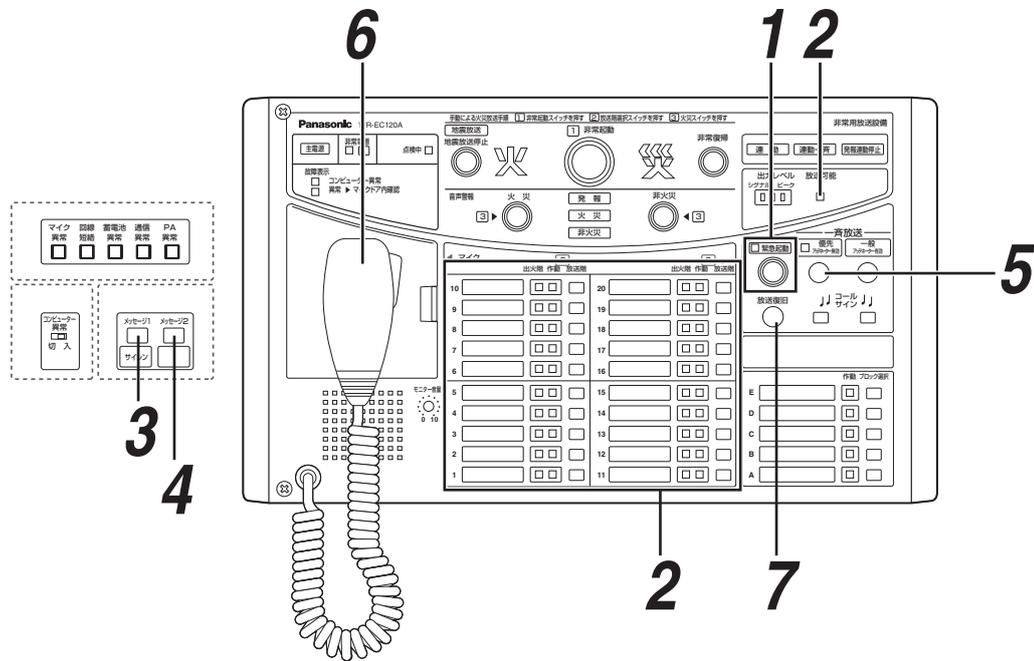
**27** 本体の階別信号入力端子を復旧させ、非常復旧スイッチを押します。  
火災灯、放送階選択指示灯、出火階表示灯が消えますか？

**28** 非常起動スイッチと任意の放送階選択スイッチを押し、発報放送を放送します。  
第1タイマーがタイムアップしたあとに、火災放送が放送されますか？  
第2タイマーがタイムアップしたあとに、全館に火災放送が放送されますか？

**29** 放送確認後、非常復旧スイッチを押します。

# 設置時の点検

## ■ 動作点検（緊急放送）



**1** 緊急起動スイッチを押します。  
緊急起動表示灯が点灯しますか？

**2** 任意の放送階選択スイッチを押します。  
放送可能表示灯が点灯、押された階の  
階別作動表示灯が点灯しますか？

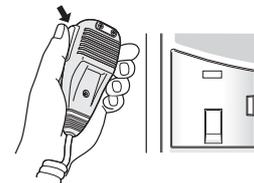
**3** メッセージ 1 スイッチを押します。  
2で押した階にサイレンが鳴りますか？

**4** メッセージ 2 スイッチを押します。  
2で押した階に設定したメッセージ  
が流れますか？  
(出荷時の設定は、「地震訓練放送  
NHK」メッセージです)

**5** 一斉放送の優先一斉スイッチを押します。  
すべての階別作動表示灯が点灯します  
か？

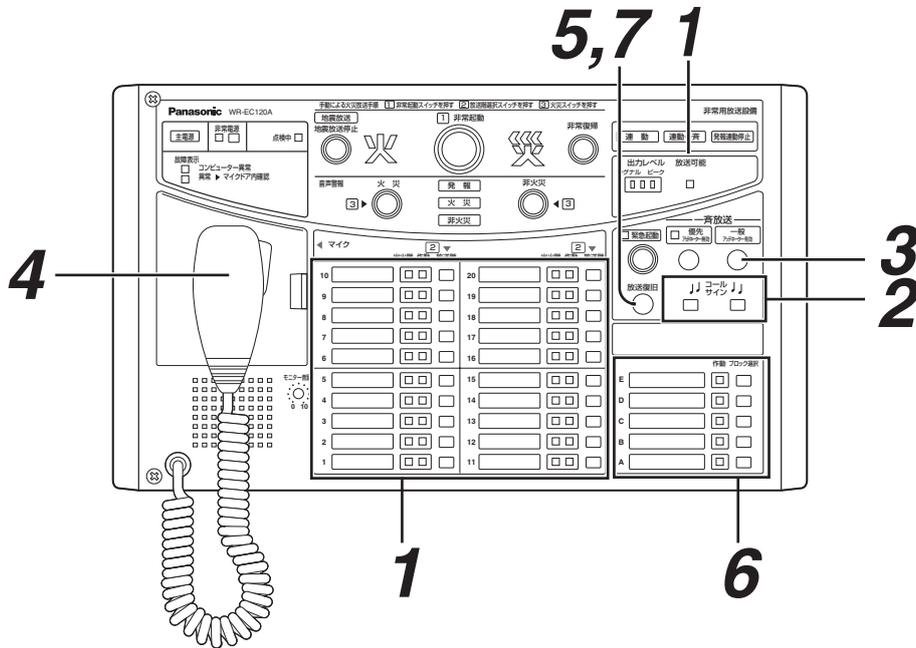
**6** マイクを取り、放送します。  
マイクスイッチを押すと、放送が全館  
に流れますか？

スイッチを押す



**7** 放送終了後は、放送復旧スイッチを  
押します。  
緊急起動表示灯、階別作動表示灯、  
放送可能表示灯が消えスピーカー放送  
も止まりますか？

## ■ 動作点検（業務放送）



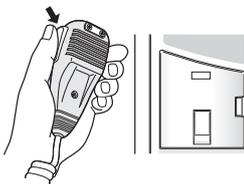
**1** 任意の放送階選択スイッチを押します。放送可能表示灯が点灯、押された階の階別作動表示灯が点灯しますか？

**2** コールサインスイッチ上りまたは下りを押します。  
**1** で押した階にコールサインが鳴りますか？

**3** 一斉放送の一般一斉スイッチを押します。すべての階別作動表示灯が点灯しますか？

**4** マイクを取り、放送します。マイクスイッチを押すと、放送が全館に流れますか？

スイッチを押す



**5** 放送終了後は、放送復旧スイッチを押します。階別作動表示灯、放送可能表示灯が消え、放送が止まりますか？

**6** ブロック指定したブロック選択スイッチを押し、放送します。ブロック作動表示灯が点灯します。放送可能表示灯が点灯し、ブロック指定された場所の階別作動表示灯が点灯し、放送が流れますか？

**7** 放送終了後は放送復旧スイッチを押します。階別作動表示灯、ブロック作動表示灯、放送可能表示灯が消えますか？

# 保守点検のしかた



- ・非常用放送設備の保守は、消防設備士（第4類甲、乙、第7類乙）または、第2種消防設備点検資格者でなければ行えませんので、ご注意ください。

## ■ 自動点検について

本機は、非常用放送設備本体側で行った自動点検の結果を、操作パネルとマイクドア内の異常表示灯で表示します。

### ● コンピューターの自動点検

点検項目	点検内容	点検方法 (コンピューターが自動的に行います)
蓄電池異常	蓄電池が正常電圧であるかどうかを判定	24時間おきに自動的に点検
通信異常	本体と非常リモコン間の通信を点検	常時自動的に点検
スピーカー回線短絡	スピーカー回線の短絡を検出	短絡状態のスピーカー回線で放送を行おうとしたときに検出
本体マイク異常	本体マイクの断線を監視	常時自動的に監視
パワーアンプ異常	電力増幅ユニットの異常を監視	電力増幅ユニットのヒューズ断、温度異常を常時監視します。

### ● 異常発生時の動作と復旧方法

点検項目	異常発生時の表示とブザー音			復旧方法
	操作パネル 表示灯	マイクドア内 表示灯	ブザー 音	
蓄電池異常	異常表示灯： 点灯	蓄電池異常 表示灯：点灯	鳴動	本体側の蓄電池を再度チェックして、蓄電池表示灯が赤に点灯している場合は、蓄電池を交換してください。
通信異常	異常表示灯： 点灯	通信異常 表示灯：点灯	鳴動	非常リモコンから再度放送を行い通信異常が正常に戻るか確認してください。
スピーカー回線短絡	異常表示灯： 点灯	回線短絡 表示灯：点灯	なし	本体側にて短絡している回線を再度確認してください。通常状態または業務放送で非常復旧スイッチを押して、異常表示を復旧してください。
本体マイク異常	異常表示灯： 点灯	マイク異常 表示灯：点灯	なし	本機の本体マイクが確実に接続されているか確認してください。
パワーアンプ異常	異常表示灯： 点灯	PA異常 表示灯：点灯	なし	本体側にて電力増幅ユニット異常の詳細内容を確認してください。

\* ブザー音は、操作パネルの任意の放送階選択スイッチを押すと鳴動が止まります。  
(異常表示灯は、点灯したままです)

## ■ 電源の点検

### ●主電源の点検

操作パネルの主電源表示灯が点灯していることを確認する。  
非常用放送設備側から供給される DC24 V 電源が動作電圧以下のときは消灯します。  
停電時は消灯します。

### ●非常電源電圧の点検

非常電源電圧点検スイッチを押して、非常電源電圧を確認する。

通常は消灯しています。

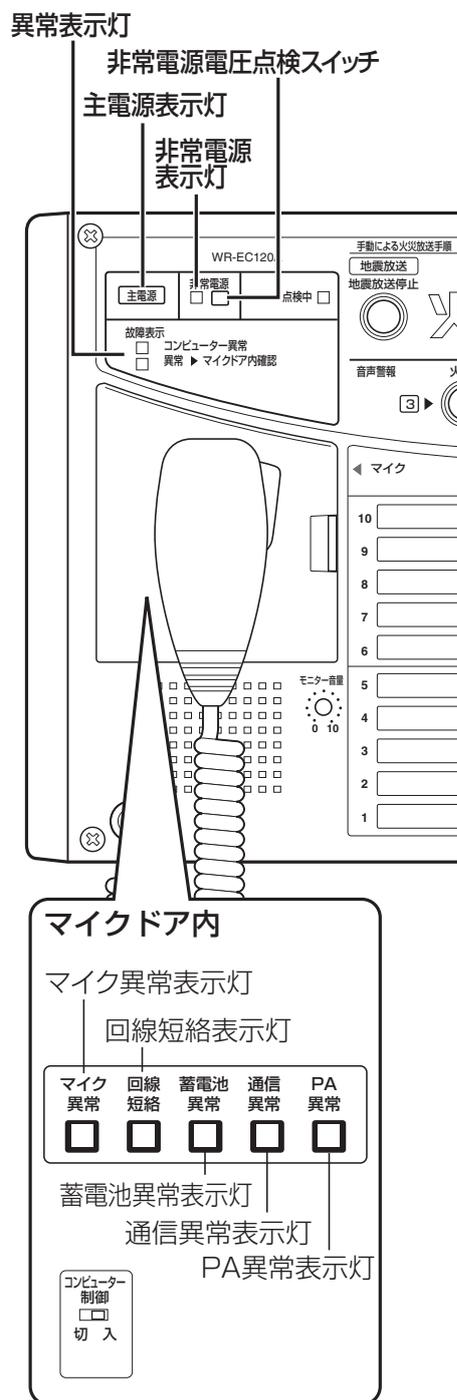
非常電源電圧が正常のときは点灯します。

動作電圧以下のときは点灯しません。

点灯しない場合、非常用放送設備内蔵の蓄電池が充電されていないか、蓄電池が寿命の可能性あります。(蓄電池の寿命は約 4 年です)

## ■ 異常時の表示について

- コンピューターが異常を発見したときは、操作パネル左上の異常表示灯が点灯します。
- マイクドアを開け、どこの異常かを確認してから、販売店、保守契約店に連絡してください。



# 仕様

## ●基本仕様

電源	DC24 V (本体部より供給)		
消費電流	WR-EC110A 250 mA	WR-EC115A 270 mA	WR-EC120A 300 mA
使用温度範囲	0 °C ~ +50 °C		
寸法	幅450 mm 高さ265 mm 奥行75 mm		
質量	WR-EC110A 約4 kg	WR-EC115A 約4 kg	WR-EC120A 約4 kg
仕上げ	パネル：OAアイボリー塗装 (マンセル5.5Y7.5/0.3近似色)		

## ●音声部

周波数特性	ライン系：50 Hz ~ 15 kHz - 1 dB±2 dB マイク系：100 Hz ~ 10 kHz - 2 dB±2 dB
ひずみ率	1 %以下 (1 kHz 基準)
ライン入力	入力レベル：- 12 dBV 入力レベル調整可能 (内蔵) 入力インピーダンス：10 kΩ 不平衡 S/N：65 dB以上
音声出力	出力レベル：0 dBV 負荷インピーダンス：600 Ωに適合 平衡
モニター入力	入力レベル：0 dBV 入力インピーダンス：10 kΩ 平衡

## ●非常／緊急地震操作部

非常／業務放送兼用マイク入力	入力レベル：- 58 dBV 入力インピーダンス：600 Ω適合 不平衡 AGC付 S/N：50 dB以上
モニタースピーカー	出力：0.3 W 8 Ω モニター音量調整付 (前面) ハウリング防止機能付
出力制御回路	放送階選択スイッチ WR-EC110A： 10局+優先一斉 (アッテネーター無効) +一般一斉 (アッテネーター有効) WR-EC115A： 15局+優先一斉 (アッテネーター無効) +一般一斉 (アッテネーター有効) WR-EC120A： 20局+優先一斉 (アッテネーター無効) +一般一斉 (アッテネーター有効)
音声警報スイッチ	火災放送スイッチ、非火災放送スイッチ
非常操作スイッチ	非常起動スイッチ、非常復旧スイッチ
地震放送停止スイッチ	地震放送停止スイッチ
表示灯	火災、発報放送表示、火災放送表示、非火災放送表示、出火階表示、階別作動表示、連動表示、連動一斉表示、発報連動停止表示、放送階選択指示、マイク指示、火災放送選択指示、非火災放送選択指示、ブロック作動表示、地震放送表示

## ●業務 / 緊急操作部

緊急操作スイッチ	緊急起動スイッチ、放送復旧スイッチ（業務放送時、緊急放送時有効）
一斉放送スイッチ	優先一斉（アッテネーター無効）、一般一斉（アッテネーター有効）
コールサインスイッチ	コールサイン上り、コールサイン下り ※本体の設定により、上り下りに合計10秒までオリジナル音声の上書きが可能
表示灯	緊急起動表示、優先一斉表示
内蔵メッセージ再生機能	本体に内蔵の10個のメッセージを再生可能 メッセージスイッチまたは、ブロック選択スイッチ割り当て再生可能 ※本体で設定

### ●本体に内蔵しているメッセージ音声の内容

メッセージ No.	名称	放送内容
1	地震訓練放送 NHK	訓練。訓練。ピロンポローン、ピロンポローン。 これは緊急地震速報の訓練です。 訓練。訓練。ピロンポローン、ピロンポローン。 これは緊急地震速報の訓練です。
2	地震訓練放送 REIC	訓練。訓練。ヒュン、ヒュン、ヒュン。 これは緊急地震速報の訓練です。 訓練。訓練。ヒュン、ヒュン、ヒュン。 これは緊急地震速報の訓練です。
3	地震速報誤報放送	先ほどの緊急地震放送は確認の結果誤りでした。 ご安心ください。
4	訓練予告放送	ただいまより、避難訓練を行います。 訓練用の非常放送が流れます。
5	火災訓練放送	訓練火災発生！訓練火災発生！フィーフォー・フィーフォー・フィーフォー（S1音）。火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。フィーフォー・フィーフォー・フィーフォー（S1音）。火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。ビュー・ビュー・ビュー（S2音）（約10秒）。
6	閉館	本日はご来場ありがとうございました。 本施設はまもなく閉館いたします。 またのお越しをお待ちしています。
7	点検放送	ただ今、拡声放送設備の試験を行っております。 ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。
8	蛍の光	フルコーラス（50秒程度）
9	サイレン	ウーウーウー（サイレン音）
10	防犯	シグナル音（日本防犯設備協会 技術基準 準拠音源）

メッセージスイッチまたはブロック選択スイッチ、外部制御入力に割り当て、再生することができます。  
別途、設定支援ソフト\*が必要

※設定支援ソフトの入手方法は販売会社にご相談ください。（無償）

# 仕様

## ●その他表示／スイッチ

主電源表示灯	常用電源 (DC24 V) 使用時 緑色点灯
非常電源表示灯	LED 点灯方式 (非常電源電圧点検スイッチ押下時作動) 正常：点灯 (緑) 異常：消灯
点検中表示灯	本体部が点検モードで運用中に点滅
コンピューター異常表示灯	コンピューター異常時：赤色点灯
異常表示灯	機器異常発生時：赤色点灯
放送可能表示灯	放送可能時：緑色点灯
出力レベルメーター	3ポイント (ピーク：0 dB、シグナル1：-6 dB、シグナル2：-40 dB)
非常電源電圧点検スイッチ	非常電源電圧点検

## ●マイクドア内

異常状態表示灯	マイク異常、蓄電池異常、回線短絡、通信異常、PA異常
コンピューター制御スイッチ	コンピューター制御 入、切
メッセージスイッチ (出荷時設定)	メッセージ1：「サイレン音」 メッセージ2：「地震訓練放送 NHK」メッセージ ※ 本体側にて設定 (オリジナルメッセージ (10メッセージ) を各スイッチに割り当て可能)

## ●外部制御端子

非常リモコン制御	LB+、LB-、CPU OFF、EMG
緊急起動出力	制御電圧35 V 制御電流2 mA

## ●その他仕様

自己診断機能	蓄電池電圧点検、非常／業務放送兼用マイク点検、非常リモコン通信点検、 スピーカー回線短絡、電力増幅ユニット点検、(本体の検出結果を表示)
--------	---

※本体とは、非常用放送設備WK-EK110A/WK-EK115A/WK-EK120Aを指します。

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名				
電話	( )	—		
お買い上げ日		年	月	日

## 修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(38ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- 製品名 壁掛形非常リモコン
- 品番 WR-EC110A, WR-EC115A, WR-EC120A
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- |     |                  |
|-----|------------------|
| 技術料 | 診断・修理・調整・点検などの費用 |
| 部品代 | 部品および補助材料代       |
| 出張料 | 技術者を派遣する費用       |

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

## アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

必要なとき

### 高所設置製品に関するお願い

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？	直ちに使用を中止してください
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機を使用せずに放置している。</li> </ul>	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に <b>撤去</b> を依頼してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。</li> <li>● 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。</li> <li>● 本機および取付部に破損や著しいさびがある。</li> </ul>	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に <b>点検</b> を依頼してください。

### 長期間使用に関するお願い

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？	直ちに使用を中止してください
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がある。</li> <li>● 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。</li> <li>● 製品に触るとビリビリと電気を感じる。</li> <li>● 電源を入れても、音が出てこない。</li> <li>● その他の異常・故障がある。</li> </ul>	故障や事故防止のため、 <b>電源を切り</b> 、必ず販売店または施工業者に <b>点検</b> や <b>撤去</b> を依頼してください。



取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）  
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

#### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号